

第1回
(9月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> イ <対話文2> エ <対話文3> ア

【問題B】 <Question 1> ウ

<Question 2> 【例】 He's fourteen years older than she is.

/ He is fourteen years older than she.

② 1 ウ 2 イ 3(1) ウ

3(2) 【例】 I think it's a good dream. If you have a big yard, no one will have trouble when your peacock makes some noise. I hope you will have a good time with your peacock at home in the future. (3文)

③ 【問1】 ウ 【問2】 ア 【問3】 エ 【問4】 イ 【問5】 エ 【問6】 イ 【問7】 ウ

④ 【問1】 エ 【問2】 ア→ウ→イ→エ (完答) 【問3】 (1) イ (2) エ (3) ア

【問4】 (1) イ (2) ウ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。How many years older is ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) グラフ参照。カピバラのリナ(Rina)が3キロを超えたのは、「一般公開が始まったとき」。(B) 空所を含む文を聞いたカイト(Kaito)が「…そのあと3日で回復した」と説明していることに注目。グラフ参照。「回復した」の3日前に「病気になる(Got sick)」とある。

2 (A) カイトとデイビッド(David)は、Petting Capybarasを見る前に何を見るかを話している。空所を含む文を聞いたデイビッドが「…きょうは日曜日だ。僕たちはそれをきょう見ることはできない」と説明していることに注目。ウェブサイトの☆と◎から、日曜日に見ることができないのはDog Parade。(B) ウェブサイトの時刻を参照。「でももしPetting Capybarasを1時間楽しんだら、Learning about Animalsが始まる前に僕たちは10分しかないだろう」に。

3 (1) ウ 「デイビッドの市の公園で野生のクジャクを見ることは、彼を楽しくする」という意味の文で、メールの本文第2段落の内容と合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2022年度の入試形式

「2022年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま、僕(=カイト)はあなた(=デイビッド)の2番目の質問に答えるね」という文に続くよう

に「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=デイビッド)の2番目の質問」とは、本文3ページのデイビッドがカイトに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「僕の夢についてあなたはもう思いませんか」という質問。また、デイビッドの夢とは、この質問の直前に書かれている「…僕は将来、自分の庭でクジャクを飼いたいと思っている」というもの。意見を聞かれているのだから、I think it's a good dream.などで書き始めると書きやすい。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるよう書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「デイビッドに伝えたい内容を一つ取り上げ、それに関する具体的な説明を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるよう書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1 「デイビッドに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2 「デイビッドに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3 「それに関する具体的な説明が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 下線部は、ジェイク(Jake)から「パラトランジットタクシー[相乗りタクシー]」に関する説明を聞いたコウキ(Koki)が「ちょっと待って」と述べたもの。下線部に続くコウキの説明から、コウキはパラトランジットタクシーとふつうのタクシーの違いについて知りたいと思ってジェイクの発言をさえぎったと判断できる。

【問2】 全訳参照。下線部は、直前のコウキの発言にミサ(Misa)が「私もそう思う」と同意したのだから、コウキの発言内容に合うものを選ぶ。

【問3】 下線部は、「でも、私はある一つのことを心配している」という意味で、ハル(Haru)の心配の内容は、2行後のハル自身の発言からわかる。ハルは「祖母がいつか自動車事故を起こすかもしれない」と心配している。

【問4】 全訳参照。下線部は、「それは難しい問題だね」という意味で、下線部中のThatは直前のハルの発言内容を指す。

【問5】 下線部は、直前のコウキの説明を聞いたハルの感想。ハルは、「お年寄りが運転をやめることに同意した場合、少額でバスやパラトランジットタクシーを利用できるカードがもらえる」という、町の警察が行っているお年寄りの自動車運転対策をすばらしいと思っている。

【問6】 本文中のミサの発言内容をていねいに追うこと。A「彼女はDRTが日本中でもっと人気が出たらいいなと思っている(本文最後の発言)」, B「彼女は、ハルとジェイクにDRTについて尋ねる(最初の発言)」, C「彼女は、ハルとコウキ、ジェイクに自動車事故について話す(4番目の発言)」, D「彼女は、ハルの祖母は目に問題があると聞いて心配している(最後から2番目の発言)」だから、BCDAの順。

〔問7〕 (A) 本文全体の内容から、「パラトランジットタクシー…は僕たちにより簡単に異なる場所に行くための良い方法を与えてくれるでしょう」に。 (B) 本文全体の内容から、「僕は、パラトランジットタクシーはハルのおばあさんのような年配の人びとを助けるだろうと思う」、「それは…年配の人びとを助ける一つの方法だと、僕は思う」に。

④ 〔問1〕 全訳参照。エリナ(Erina)は、自分がピアノの先生から特別な才能があると評価されていることから、ピアノのレッスンをときどきずる休みしても次のコンクールで賞がとれると思っている。だが、それを聞いたゲンキ(Genki)は「たとえ特別な才能があっても、練習し続けるほうが良いと僕は思う」と言っている。これに対して、下線部で「彼女は『大丈夫だよ!』と彼に言った」のだから、「エリナは、自分には特別な才能があるので、賞がとれると思っていた」ということ。

〔問2〕 ア「エリナはレッスン中、コンクールで簡単に賞をとることができると思った(本文第3段落)」、イ「エリナの母親は、エリナの言葉を聞いて悲しく思った(第5段落中ほど)」、ウ「エリナのピアノの先生は、彼女を心配して、彼女の母親に電話した(第5段落2～3行目)」、エ「エリナは、ゲンキが自分に正しいことを言ったとわかった(第6段落)」だから、アウイエの順。

〔問3〕 (1) 本文第1段落から、「子どものころに多くの賞をとったから、エリナはプロのピアニストになれると確信していた」という意味の文に。

(2) 本文第4段落から、「自分がいちばん上手にピアノを弾いたと確信していたから、エリナは審査員が間違っていると思った」という意味の文に。

(3) 本文第6段落から、「エリナが再びピアノの練習を始めることを決めたから、エリナの母親はうれしく思った」という意味の文に。

〔問4〕 (1) 「エリナはナオト(Naoto)から何を学びましたか」に答える。本文第6段落から、「もし後悔したくないなら、簡単に夢をあきらめるべきではない(ということを彼女は学びました)」。

(2) 「エリナのピアノの先生は、なぜほほ笑んだのですか」に答える。本文第7段落から、「エリナがピアノのレッスンに戻って来たから」。

全 訳

①

〔問題A〕

<対話文1>

男性： すみません。この電車はサクラ駅に止まりますか。

女性： いいえ。サクラ駅はイエロー線で、これはブルー線です。この電車はそこには行きません。

男性： えっ、まさか！どうやってサクラ駅に行けばいいですか。

女性： この電車は次にミドリ駅に止まります。そこでイエロー線に電車を乗り換えてください。サクラ駅はそこから2つ目の駅です。

男性： わかりました。どうもありがとうございました。

女性： どういたしまして。良い一日を。

質問：男性はどこで電車を乗り換えますか。

<対話文2>

ユミ： あなたは歌うのが上手ね、スコット。

スコット： ありがとう、ユミ。僕は毎週水曜日と金曜日、日曜日におばから歌い方を習っているんだ。彼女は音楽の教師なんだよ。

ユミ： 本当？それはいいわね！

スコット： あっ！君は来月、文化祭で歌を歌うんだよね？

ユミ： そのとおりよ。私は練習する必要があるわ。

スコット： 僕たちに加わるのはどう？

ユミ： ありがとう。でも毎週金曜日と土曜日にギターのレッスンがあるから、私は週に2回しか行けないわ。それでいい？

スコット： 問題ないよ。僕はおばに君のことを話しておくよ。

質問：ユミとスコットはいつ、スコットのおばから歌い方を習う予定ですか。

<対話文3>

アキラ： 明日の午後は雨が降ると聞いたよ、ベティ。

ベティ： 本当？私は明日は晴れだと思ったわ。私たちは明日の午後、買い物に行く予定なのよね？私たちはどうすべきかしら？

アキラ： 明日の朝、買い物に行くのはどう？天気ニュースは曇るだけだと言っているよ。

ベティ： 悪いけど、行けないわ。私は明日の朝、母と一緒にクッキーを作る予定なの。

アキラ： わかった。今日の午後はどう？晴れるよ。

ベティ： いい考えね。

質問：明日の天気はどうなるでしょうか。

〔問題B〕

こんにちは、皆さん。僕はトミタユウヤです。先月、僕はオーストラリアに行って、その家族のところに2週間滞在しました。その家族には4人の兄弟と2人の姉妹がいました。最年長の兄であるアンディは17歳で、最年少の妹のメアリーは3歳です。僕は最初の週にはそこでたくさんの苦労がありましたが、家族は僕にとっても親切で、僕を大いに助けてくれました。

その家族は日本に興味がありました。彼らは僕に日本の言葉や文化についてたくさんの質問をしました。しかし僕はそれらのいくつかに答えることができませんでした。そのとき僕は、日本に戻ったあとで自分の国についてもっと多くのことを勉強するべきだと思いました。僕はオーストラリアの家族と一緒にすばらしい時間を過ごしました。僕は「ありがとう」を言うために彼らに手紙を送るつもりです。

僕は再び外国へ行って、そこに滞在したいです。もし人びとがそこで日本について僕にいくつか質問したら、僕はそれらのすべてに答えたいと思います。僕は一生懸命に勉強するつもりです。ありがとうございました。

質問1：ユウヤはなぜ、オーストラリアの家族に手紙を送るつもりですか。

質問2：アンディはメアリーより何歳年上ですか。

②

1

デイビッド： 君は夏休みの宿題にどんな話題を選んだの？

カイト： 僕は僕たちの町の動物園のカピバラの赤ちゃんを選んだよ。

デイビッド： いいね。どうして君は宿題にそれを選んだの？

カイト： ええと、僕が7月31日にその動物園に行ったとき、大勢の人が何頭かのカピバラの赤ちゃんを見ていたんだ。そのうちの1頭がそのとき眠っていたんだ。スタッフの一人が僕たちに「彼女の名前はリナです。彼女は7月1日に生まれて、いま、生後30日です。彼女の姉妹と兄弟は人と遊ぶのが好きですが、彼女は眠るのがとても好きなのです」と言ったんだ。リナについてのその情報で僕は彼女に興味を持ったのさ。それで、僕は彼女について学ぶことに決めたんだった。僕はスタッフに彼女についてたくさん質問したんだ。

デイビッド： いいね。僕に彼女についてもっと話してくれない？

カイト： いいよ。どうぞこのグラフを見て。それはリナの重さと生後日数、それに彼女に起こったことを示しているん

だ。たとえば、彼女のエリアの一般公開が始まったとき、彼女は3キログラム以上の重さがあったんだ。

デイビッド：なるほど。そして生後3日のときに、彼女はえさを食べ始めたんだね。あつ、彼女は病気になったんだね。

カイト：その通り。彼女はそのあと3日で回復したんだよ。

デイビッド：それは良かった。僕をその動物園に連れて行ってくれない？僕は彼女に会いたいな。

カイト：いいよ。

2

デイビッド：この動物園には何かカピバラの催しがあるの？

カイト：うん。このウェブサイトを見て。それはその動物園での催しのスケジュールを示しているんだ。

デイビッド：おや、僕たちはカピバラ・ハウスでリナに会えるよ。

カイト：そうだね。Petting Capybaras は1時30分に始まるね。その前に Dog Parade を見るのはどうだい？

デイビッド：いい考えだね。あつ、待って。今日は日曜日だよ。僕たちはきょう、それを見ることはできないよ。

カイト：ああ、君の言う通りだね。それなら、リナに会う前に、この催しに行こう。

デイビッド：わかった。僕たちは Petting Capybaras のあと、何をしようか？動物園を出る？

カイト：Learning about Animals はどうかな？

デイビッド：いいよ。でももし Petting Capybaras を1時間楽しんだら、Learning about Animals が始まる前に僕たちは10分しかないだろう。

カイト：君の言う通りだね。イベント・ホールまで走って行こうよ。

3

(1)

カイトへ、

僕の日本滞在中にはいろいろどうもありがとう。君の町の動物園を訪れたことはいつも僕にとって特別な思い出になるでしょう。僕はそこでたくさんの種類の動物を見て楽しみました。特に、カピバラはとてかわいかったです！僕たちはスタッフからパンダやトラのような何種類かの動物について学びました。僕の市には動物園がないので、僕は生きているパンダを見たことがありません。僕は将来、それを見たいです。

君は僕たちが動物園でクジャクを何羽か見たのを覚えていますか。実は、僕の市の公園には数羽の野生のクジャクがいます。僕はときどきそこに行って、それらを見て楽しみます。クジャクは大きな鳥で、ときどき騒音を立てるので、それらを世話するのは困難ですが、僕は将来、自分の庭でそれを飼いたいと思っています。

君は僕の夢についてどう思いますか。どうか僕にそれについての君の考えを教えてください。

君の友人、
デイビッドより

(2)

デイビッドへ、

Eメールをありがとう。僕も君と一緒にとても楽しい時を過ごしました。僕は、君が動物園で動物を見て楽しんだと聞いてうれしいです。はい、僕もそれを覚えています。クジャクはとてもきれいでしたね。

いま、僕は君の2番目の質問に答えます。

君からの次のEメールを楽しみに待っています！

君の友人、
カイトより

3

ハルとコウキ、ミサは東京の高校生です。ジェイクはアメリカ合衆国出身の高校生です。彼らは朝、自分たちの教室で話しています。

ハル：おはよう、みんな。あなたたちは、私たちの町が今日からデマンド型交通、すなわち DRT を始めたことを知っている？

ジェイク：おはよう、ハル。うん。僕は父からそのことを聞いたよ。

コウキ：DRT？僕はそれらの文字を初めて聞いたよ。

ミサ：私もよ。それは何？

ハル：私があなたたちにそれについて話すわ。DRT はバスとかタクシーのようなものだけど、それらよりもっと融通のきくものよ。たとえば、バスには決まった時間や経路があるけど、DRT にはそのようなものはないの。

ジェイク：それに何種類かの DRT があるんだ。

コウキ：僕たちの町にはどんな種類の DRT があるの？

ハル：私たちの町にはパトランジットタクシーがあるわ。

ミサ：どうやって私たちはそれらを利用することができるの？

ジェイク：僕たちはそれらを予約する必要があるんだ。たとえば、君が家にいて、ABC 病院に行きたいと思っている。君は予約センターに電話して、「私は ABC 病院に行きたいんです。私の家の前に午前8時に来ていただけませんか」と言うんだ。君はしばらく待って、タクシーが午前8時頃に来たら、それに乗るんだ。

コウキ：うーん。ちょっと待って。パトランジットタクシーはふつうのタクシーと同じという意味なの？それらの間に何か違いはあるの？

ハル：それらはちょっと違うの。パトランジットタクシーには、私たちは他のだれかと一緒に乗るかもしれないの。たとえば、私たちの町のだれかもまた ABC 病院へ行きたいと思うなら、そのタクシーはその男性または女性を乗せ、あなたたちと一緒に連れて行くの。

ジェイク： さらに、パラトランジットタクシーを利用するときは、ふつうのタクシーを利用するときほど、僕たちは多くのお金を必要としないんだ。

コウキ： ああ、なるほど。僕たちの町には駅やバス停が一つもない地域もあるよね。パラトランジットタクシーはみんな、特にそのような地域の年配の人たちにとって便利だね。

ミサ： 私もそう思うわ。年配の人たちにとってそれらのタクシーを利用してさまざまな場所へ行くことはより簡単ね。

ハル： あなたの言う通りね。私は祖母と一緒に自分たちの町の遠隔地に住んでいるわ。その地域には駅やバス停が一つもないわ。彼女はよく私を車でさまざまな場所へ連れて行ってくれるわ。でも、私はある一つのことを心配しているの。

コウキ： それは何だい？

ハル： 彼女がいつか自動車事故を起こすかもしれないの。私は、車を運転するときに、年配の人たちが自動車事故を起こすときどき聞いているわ。

ミサ： あっ！あなたたちは2、3日前に、チュウオウ通りで自動車事故があったことを聞いている？一人の年配の男性がブレーキと間違えてアクセルを踏んだので、その事故は起こったの。

ジェイク： うん。僕はテレビでそのニュースを見たよ。

ハル： 私の祖母は元気そうに見えるけど、いま彼女は72歳なの。彼女はときどき自分ははっきりと物を見ることができないと言うの。

ミサ： それを聞いたら、私も心配だわ、ハル。彼女は自分の車を運転するのを止めるつもりなの？

ハル： 私はそうは思わないわ。彼女はよく自分の車を運転しなければならないの。彼女は自分の足にいくつかの問題があって、長い時間歩くことができないの。

ジェイク： それは難しい問題だね。君の両親もそのことについて心配しているの？

ハル： もちろん、でも彼らはどうしたら良いかわからないの。先月、父は彼女に自分の車を運転するのを止めるように頼んだの。すると、彼女は怒って、「もし私が自分の車を運転するのを止めたら、あなたは私を多くの場所へ車に乗せて行かなければならないのよ。でも、あなたが家にいないときに、どうやって私は病院へ行くの？どうやって私は駅に行くの？どうやって私は友だちに会うの？あなたはここ近くにはバス停が一つもないことは知っているでしょ。私はまだ自分の車を運転する必要があるの！」と言ったの。

コウキ： なるほど。DRTはハルのおばあさんのような年配の人たちを手助けするための良い方法なんだね。

ジェイク： その通り。

コウキ： 私は、自分たちの町の警察が年配の人たちに自分たちの車を運転するのを止めるように頼んでいると聞いたことがあるよ。もしはいとえば、彼らはほんのわずかなお金でバスやパラトランジットタクシーに乗るためのカードをもらうことができるんだ。

ハル： それはすばらしいわね！私はそのことについて祖母に話すわ。

ミサ： 将来、より多くの年配の人たちがいることになるわ。私は、DRTが日本でより一般的になることを願っているわ。

4

エリナは中学3年生です。彼女の夢はプロのピアニストになることです。5歳のとき、彼女はピアノを弾き始めました。中学校に行く前に、彼女は多くのコンクールに参加して、いつも賞をとりました。彼女はきっと自分がプロのピアニストになれると確信していました。

1年生のときのある日、エリナは幼なじみのゲンキに電話をしました。彼は当時、オーストラリアに住んでいました。電話で、ゲンキは「君はまだピアノを弾いているのかい？僕は君がコンクールで多くの賞をとったのを覚えているよ」と言いました。「もちろん、弾いているわ。あなたがオーストラリアに行ったあとも、私はもう少し賞をとったのよ。私は今週末に、コンクールに参加する予定なの。中学校に行ったあと、他にすることがたくさんあるので、私はときにはピアノのレッスンをずる休みするわ。でも私は、私のピアノの先生が自分にはピアノを弾く特別な才能があると言うので、賞をとることができる

と思うの」と彼女は答えました。ゲンキは「僕は、たとえ君に特別な才能があっても練習し続けることがより良いと思うよ」と言いました。「大丈夫よ！」と彼女は彼に言いました。

2、3日後、エリナのピアノの先生であるムラタ先生がレッスン中に彼女に「コンクールは今週末にやって来るわ。あなたはもっと練習するべきだわ」と言いました。エリナはただ「はい、それはわかっています」と言っただけでした。「私には特別な才能があるから、私にとってコンクールで賞をとることは簡単だわ」と彼女は思いました。

しかし、その週、エリナはコンクールで賞をとりませんでした。彼女は「信じられない。審査員が間違っているに違いないわ」と思いました。翌日、彼女はピアノのレッスンに行きました。ムラタ先生は彼女に「次のコンクールで賞をとりたければ、あなたはもっと一生懸命に練習しなければならないわね」と言いました。エリナはただ「私にはピアノを弾く特別な才能があるわ。私の演奏は昨日のコンクールですべての人のうちで最もよかったわ。私は次回は賞をとることができるわ」と思うだけでした。しかし、次のコンクールで、彼女は再び一つも賞をとりませんでした。彼女はそのあと、いくつかのコンクールに参加しました。しかし、彼女は一つも賞をとることができませんでした。彼女はショックを受けて、「私は自分にはピアノの才能がないということがわかったわ。私はプロのピアニストになれないだろう」と思いました。

そのあと、エリナはピアノのレッスンに行きませんでした、そしてしばらくの間ピアノを弾きませんでした。彼女の母親が「エリナ、ムラタ先生が私に電話をくれたの。彼女はあなたのことを心配しているわよ。あなたはプロのピアニストになりたいんでしょ？レッスンに行ったらどう？」と言いました。エリナは「私はプロのピアニストにならないと思うわ」と言いました。彼女の母親はそれを聞いて悲しく思いました。その夜寝る前に、エリナは「私は自分の夢をあきらめるべきかしら、それとも練習し続けるべきかしら？」と思いました。彼女は2、3週間ピアノのレッスンに行きませんでした。彼女はいつも同じ疑問について考えましたが、それに対する答えを得ることができませんでした。

そのようなとき、エリナのいとこのナオトが彼女の家にやって来ました。ナオトは弁護士でした。エリナは「彼は弁護士になるために長い間、一生懸命に勉強したんだわ。彼に聞いてみよう」と思いました。エリナは彼に「あなたにとって弁護士になることは難しかった？」と聞きました。ナオトは「もちろん。僕は弁護士になるために難しい試験に合格しなければならなかったんだ。僕はとても一生懸命に勉強したけど、何回もそれに合格できなかったよ。僕はよく『自分の夢をあきらめるべきかな？』と思ったよ。しかし、僕は何度も挑戦したんだ。とうとう、僕は試験に合格したよ」と答えました。彼女は彼に「あなたは決してあきらめなかったのね。あなたはすごいわ。私はプロのピアニストになりたかったけど、最近一つも賞をとっていないの。私はどうしたらよいかわからないの」と言いました。ナオトは「もし君が簡単に自分の夢をあきらめるなら、あとでそれを後悔するだろう。最善を尽くしてごらん」と言いました。彼女は「私は自分の夢のために最善を尽くしたのだろうか？答えは…ノーだわ。ゲンキは、私が練習し続けるべきだと言ったわ。彼の言う通りだったわ」と思いました。その夜、エリナは母親に「私は自分の夢のために一生懸命に練習すべきだということがわかったわ。私はゲンキとナオトから大切なことを学んだの。私は明日またピアノのレッスンに行って、練習し始めるつもりよ」と言いました。彼女の言葉は母親をうれしくさせました。

翌日、エリナはムラタ先生のところに行って、「ごめんなさい。またここでピアノの練習をしていいですか」と言いました。ムラタ先生はほほえんで、「もちろん！私はあなたをずっと待っていたのよ！」と言いました。エリナは再び練習し始めました。彼女は一生懸命に練習し続けています。彼女は自分の夢を決してあきらめないでしょう。

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを7語の英語で、すべて英語のつづりで書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Man: Excuse me. Does this train stop at Sakura Station?

Woman: No. Sakura Station is on the Yellow Line, and this is the Blue Line. This train doesn't go there.

Man: Oh, no! How can I get to Sakura Station?

Woman: This train stops at Midori Station next. Change trains there to the Yellow Line. Sakura Station is the second station from there.

Man: I see. Thank you very much.

Woman: You're welcome. Have a nice day. (3秒の間)

Question: Where will the man change trains? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Yumi: You are a good singer, Scott.

Scott: Thank you, Yumi. I learn how to sing from my aunt on Wednesdays, Fridays, and Sundays. She is a music teacher.

Yumi: Really? That's good!

Scott: Oh! You will sing a song at the school festival next month, right?

Yumi: Right. I need to practice.

Scott: How about joining us?

Yumi: Thank you. But I can come only twice a week because I have guitar lessons on Fridays and Saturdays. Is that OK?

Scott: No problem. I'll tell my aunt about you. (3秒の間)

Question: When will Yumi and Scott learn how to sing from Scott's aunt?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Akira: I heard it's going to rain tomorrow afternoon, Betty.

Betty: Really? I thought it would be sunny tomorrow. We are going to go shopping tomorrow afternoon, right? What should we do?

Akira: Why don't we go shopping tomorrow morning? The weather news says it's only going to be cloudy.

Betty: I'm sorry, but I can't. I'll make cookies with my mother tomorrow morning.

Akira: I see. How about this afternoon? It will be sunny.

Betty: Good idea. (3秒の間)

Question: How will the weather be tomorrow? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、男子高校生の Yuya が、オーストラリアでのホームステイについて発表したときのものです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを7語の英語で、すべて英語のつづりで書きなさい。

なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Hello, everyone. I'm Tomita Yuya. Last month, I went to Australia and stayed with a family there for two weeks. There were four brothers and two sisters in the family. The oldest brother Andy is seventeen, and the youngest sister Mary is three. I had a lot of trouble there in the first week, but the family was very kind to me and helped me a lot.

The family was interested in Japan. They asked me a lot of questions about Japanese language and culture. But I couldn't answer some of them. Then I thought I should study many more things about my country after returning to Japan. I had a great time with the family in Australia. I'll send a letter to them to say, "Thank you."

I want to go abroad and stay there again. If people ask me some questions about Japan there, I want to answer all of them. I'll study hard. Thank you. (3秒の間)

Question 1: Why will Yuya send a letter to the family in Australia? (5秒の間)

Question 2: How many years older is Andy than Mary? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第2回
(10月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> イ <対話文2> エ <対話文3> イ

【問題B】 <Question 1> ア <Question 2> 【例】 They can enjoy traditional Japanese music.

② 1 ウ 2 エ 3(1) ウ

3(2) 【例】 My mother often tells me fruits are good for our health. But I don't eat them very often.

There are always some fruits in my house, so I will eat some every day from today.

(3文)

③ 【問1】 ア 【問2】 ウ 【問3】 イ 【問4】 エ 【問5】 ウ 【問6】 イ 【問7】 ア

④ 【問1】 ウ 【問2】 エ→ア→ウ→イ (完答) 【問3】 (1) イ (2) ウ (3) エ

【問4】 (1) エ (2) ア

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。What kind of music can ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

- ② 1 (A) 直前の話題が、「定期的に運動をする人の割合が最も高い」であることに注目。グラフ参照。空所に入るものが「次に来る」とベス(Beth)が説明していることから、「毎日、朝食をとる」が入る。(B) 空所に続けて、「…それは野菜を食べることの割合よりも低いです」とベスが説明していることに注目。グラフ参照。「ジャンクフードを避ける」「十分な睡眠を取る」の2つが当てはまるが、ベスは直前で「私はジャンクフードが大好きです」と述べている。
- 2 (A) ここまでの内容から、ベスはヒップホップダンスのレッスンに参加したいと考えているとわかる。体験レッスンの一覧表参照。ベスは月曜日に京都に向かい、火曜日の晩に戻ると述べていることから、参加できるヒップホップダンスのレッスンがあるのは「28日」とわかる。(B) 続く内容に、ベスが提案したレッスンは「金曜の午前」にあると説明されている。体験レッスンの一覧表参照。その時間帯にあるレッスンは「ネットボール」。
- 3 (1) ウ 「ベスは来月、上演後、自分自身のダンスの動画をアキ(Aki)に送るつもりです」という意味の文で、メールの本文第1段落の内容と合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2022年度の入試形式

「2022年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「私(=アキ)はあなた(=ベス)の質問に答えます。実は、私は自分の食べ物に注意を払っていませんでした。でも、あなたのEメールを読んだあと、私はそうすべきだと思います。きょうから自分の食べ物に注意を払い始めて、自分の健康のために食べ物について一つのことを始めるつもりです。それについて私はあなたに話します」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「ベスに伝えたい内容を一つ取り上げ、それに関する具体的な説明を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1 「ベスに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2 「ベスに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3 「それに関する具体的な説明が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

- ③ 【問1】 下線部の「それはいいですね」とは、直前のケイコ(Keiko)の発言を受けてのもの。ケイコは、図書館には英語の本があまりないが、来月新しい英語の本が届く予定であると説明している。その内容に近いものを選ぶ。
- 【問2】 全訳参照。「…でも僕は最近、本を読むための十分な時間がありません」と述べたジョン(John)に対し、サトシ(Satoshi)が「…僕も昨年、同じ問題がありました」と述べたことに注目して答える。
- 【問3】 直前で、「でも、夜に読むとき、私はすぐに眠くなります」と述べていることから、ナナ(Nana)は「もっと本を読むために何をするべきかを知りたい」と思っているとわかる。
- 【問4】 下線部は直前のナナの発言を受けてのもの。ナナは、「でも私は何を読むべきかわかりません」と述べていることから、この内容に近いものを選ぶ。
- 【問5】 下線部の「私たち(=ナナとジョン)はそれを喜んでします」とは、直前のケイコの発言を受けてのもの。ケイコは、「…それ(=図書館の本を紹介するイベント)についていくつかのアイデアを私たちにくれますか」とお願いしていることから、この内容に近いものを選ぶ。
- 【問6】 本文中のサトシの発言内容をていねいに追うこと。A「毎週土曜日に、市立図書館で本を読み始めた」と彼は言います(7番目の発言)、B「するべきことを記したリストを作ることによって、本を読むためのより多くの時間があると、彼は言います(6番目の発言)」、C「あるイベントに参加したあとに、本を読むことにより興味を持った」と彼は言います(8番目の発言)、D「寝る前に10分だけ本を読もうとした」と彼は言います(5番目の発言)だから、DBACの順。
- 【問7】 (A) ケイコの4番目と5番目の発言、及び、それに対するジョンの発言から、それぞれ「僕は毎日、放課後にサッカーを練習しなければならないので…」「彼らは宿題のために本を読まなければならないので…」に。「～しなければならない」=have to ~ (動詞の原形) (B) 最初の空所を含む文に注目。ケイコの4番目の発言以降の内容から、「ケイコはオーストラリアの生徒たちについて知りたいと思いました」に。2つ目の空所を含む文は「私はそれらについて知って、うれしいです」という意味。

④ 〔問1〕 下線部は、文化祭でのクラスの取り組みについて提案したユカ(Yuka)が述べたもの。ユカは直前でクラスメートたちに、買い物袋を作って売ることを提案し、その作り方を知っていると述べている。この内容に近いものを選ぶ。

〔問2〕 ア「ユカのクラスメートの何人かは、塾に行かなければならないと言いました(本文第4段落)」、イ「友だちと一緒に良い時間を共有することはすてきだと、ユカは思いました(第7段落後半)」, ウ「一緒に働くように頼むために、マナミ(Manami)は自分のクラスメートの何人かに電話しました(第7段落中ほど)」, エ「ユカと彼女のクラスメートは、文化祭で何をすべきかについて話しました(第2段落)」だから、**エアウイ**の順。

〔問3〕 (1) 本文第4段落中ほどから、「クラスメートの何人かが塾に行ったあと、ユカはおよそ1か月ですべての買い物袋を作り終えるのは難しいだろうと思いました」という意味の文に。

(2) 本文第4段落後半から、「クラスメートの何人かが一緒に働かなかったので、イチロウ(Ichiro)はとても怒りました」という意味の文に。

(3) 本文第5段落から、「マナミがユカの考えが良くないと言ったので、ユカは冷静さを失いました」という意味の文に。

〔問4〕 (1) 「ダイゴ(Daigo)と話したあと、ユカは夜に何をすることを決めましたか」に答える。本文第6段落から、「彼女は、一緒に買い物袋に取り組むことについてクラスメートと話すことを決めました」。

(2) 「ユカは自分の経験を通じて、何を学びましたか」に答える。本文第8段落から、「彼女は他の人びとの気持ちについて考えることが大切だということを学びました」。

全 訳

1

〔問題A〕

<対話文1>

アヤ： この写真を見て、ボブ。富士山よ。

ボブ： わあ、きれいだね、アヤ。君はそれを静岡で撮ったの？

アヤ： いいえ。私は先週、東京でそれを撮ったのよ。

ボブ： 僕は、東京で富士山が見られるとは知らなかったよ。

アヤ： 私たちは東京の数か所からそれを見られるのよ。あなたは今までに富士山に登ったことがある？

ボブ： うん。僕はこの前の夏、山梨でそこに登ったよ。実は、僕は山登りが好きなんだ。ニュージーランドにいたときに、僕はよくそれを楽しんだよ。

アヤ： あなたはニュージーランドの山の写真を持ってる？

ボブ： もちろんさ。あとで君にそれらを見せるよ。

質問：アヤはどこで富士山の写真を撮りましたか。

<対話文2>

ジェーン： タロウ、あなたは今度の日曜日はひま？

タロウ： うん、ジェーン。どうして？

ジェーン： ええと、姉と私は家の近くの公園でテニスをして、お昼ごはんを食べる予定なの。私は、花が今週末は美しくなると思うの。私たちと一緒に来たい？

タロウ： もちろん。僕は花が好きなんだ。僕はカメラを持っていくよ。

ジェーン： よかった。姉が私たち全員にお昼ごはんを作ってくれるのよ。あなたはテニスラケットを持ってる？

タロウ： いや、でも姉が持っているんだ。僕は彼女を持っていくよ。

ジェーン： わかったわ。私はギターを持っていくから、屋食をとったあと、歌って楽しみましょう。

質問：タロウは今度の日曜日、公園に何を持っていくつもりですか。

<対話文3>

ルミ： こんにちは、ピーター。あなたはオーストラリアに戻る予定だそうね。

ピーター： そうなんだ、ルミ。12月23日に日本を発つ予定だよ。いつかオーストラリアの僕をどうぞ訪ねてよ。

ルミ： ええ。実は、私の兄がシドニーに住んでいて、私は来年の8月に彼を訪ねるつもりなの。

ピーター： 本当？ 彼はそこで何をしているの？

ルミ： 彼は語学学校で日本語を教えているわ。彼はこの前の1月に、そこで働き始めたの。

ピーター： なるほど。君は今までにオーストラリアを訪れたことがあるの？

ルミ： ええ。私はこの前の3月に、兄に会いにシドニーに行ったの。私たちは動物園を訪れて、そこで珍しい動物を見て楽しんだわ。

ピーター： それはよかったね。

質問：ルミはいつオーストラリアを訪れましたか。

〔問題B〕

本日はサクラ美術館にお越しいただきありがとうございます。この美術館は10年前にオープンしました。この美術館には見るべき興味深いものがたくさんあります。来館者はまた、外の日本庭園を歩いて回って楽しむこともできます。本日は11時から3時まで、庭でお茶会を開く予定です。どうぞお茶会に来て、緑茶を楽しんでください。おなががすきましたら、どうぞレストランへお越しください。10時から5時まで営業しております。お友だちやご家族に何か買いたいとお思いでしたら、ミュージアムショップを訪れるべきです。本やポスター、カードのようなものをたくさん見つけることができます。ミュージアムショップはレストランの隣にあります。

来月、私たちは特別なイベントを2つ開く予定です。3日から6日までは、音楽会を開きます。来館者はホールで日本の伝統的な音楽を楽しむことができます。そして、23日から27日までは、来館者は浮世絵の世界を楽しむことができます。私たちは特別なイベントで再び皆様にお会いできることを願っております。ありがとうございました。

質問1：来館者は今日、どこでお茶を飲むことができますか。

質問2：来月3日から6日まで、来館者はどんな種類の音楽を楽しむことができますか。

2

1

ベス： うわあ、あなたは次の授業のためにこのグラフを作ったの？

アキ： そうよ。この学校の多くの生徒が「あなたは健康を維持するために何をしていますか」という私の質問に答えてくれたの。このグラフは彼らの答えの割合を示しているのよ。

ベス： これは興味深いわね。彼らのおよそ80パーセントが定期的に運動をしているのね。

アキ： そうなの。その割合がこのグラフでは最も高いわ。

ベス： そして毎日朝食をとることの割合が次に来るのね。

アキ： そのとおりよ。ところで、私は健康を維持するために週末にテニスをしているわ。あなたはどうかの？

ベス： 私は何もしていないわ。私はひとつもスポーツはしていないの。私はジャンクフードが大好きよ。あつ、私はグラフにある1つのことをしているわ。私は十分な睡眠を取っているわ。その割合はこのグラフではあまり高くないわね。それは野菜を食べることの割合よりも低いわ。いま、私は自分が健康にもっと関心を持つべきだと思うの。私は自分の健康のために何かを始めたいと思うわ。

アキ： それはすばらしいわ。私も何かを始めるつもりよ。インターネットで何かを探すのはどうかしら？

ベス： それはいい考えね。

2

アキ： 見て、ベス。このジムには無料の体験レッスンがあるわよ。
ベス： いいわね。ひとつやってみましょうよ。私はヒップホップダンスをやってみたいわ。
アキ： 私はあなたがそれを好きだとは知らなかったわ。
ベス： 私は一度もそれに関心を持ったことはないのよ。私はただ何か新しいことを始めたいだけなの。
アキ： なるほど。あなたは月曜日のレッスンに参加するつもり？
ベス： ええと、私はその日おじさんに会うために京都に行く予定なの。私は午前9時に出発して、火曜日の晩に戻るわ。
アキ： それなら、あなたは28日のレッスンに参加できるわね。
ベス： そのとおりね。私はそうするわ。あなたはどれをやってみるつもりなの？
アキ： 夏の間、私は毎週月曜日の午前と水曜日の午前に、テニスの練習があるのよ。
ベス： なるほど。それなら、ネットボールはどう？私は友だちと一緒に何度もそれをしたことがあるわ。私はきっとあなたがそれを楽しむと思うの。
アキ： わかったわ。私はそれをやってみるわ。
ベス： すばらしいわ。では、あなたは金曜日の午前に体験レッスンに参加するのね。
アキ： ええ。私はそれを楽しめることを願っているわ。

3

(1)

アキへ、

私が日本にいたときには助けてくれてありがとう。あなたは私たちが体験レッスンに参加したことを覚えていますか。レッスンの前、私はヒップホップダンスは自分にとって少し難しいだろうと思っていました。でも、それはとても楽しかったです。私はレッスンで踊ったあと気分よく感じました。ニュージーランドに戻ったあと、私は週末にヒップホップダンスのレッスンに通い始めました。私は来月、他の生徒たちと一緒に舞台上で踊る予定です。あなたはこのことを信じられますか？両親が私のダンスを見に来ると言ったので、私はとても一生懸命練習しなければなりません。彼らが私のダンスの動画を撮影してくれるので、私は上演後にそれをあなたに送ります。

先週、私は学校で友だちと一緒にバスケットボールをしました。私は彼らと一緒にそれをして楽しみました。私は、スポーツをすることは私たちの身体と心の両方の健康のために良いと思います。

日本にいたとき、私はときどきあなたと一緒にジャンクフードを食べて楽しみましたよね？いま、私はそれをあまり食べません。私は自分の食べ物に注意を払っています。あなたはどうですか。食べ物に関するあなたの考えについてどうぞ私に話してください。

あなたの友人、
ベスより

(2)

こんにちは、ベス

Eメールをありがとう。私はそれを読んで楽しみました。私は体験レッスンについてとてもよく覚えています。あのあと、あなたはよく私に「あなたは私と一緒にヒップホップダンスをやってみるべきよ、アキ。それは楽しいわ！」と言いましたね。私はあなたが今でもそれを楽しんでいることを聞いてうれしいです。

私はあなたの質問に答えてみます。実は、私は自分の食べ物に注意を払っていませんでした。でも、あなたのEメールを読んだあと、私はそうするべきだと思います。今日から、私は自分の食べ物に注意を払い始めて、自分の健康のために食べ物について一つのことを始めるつもりです。私はあなたにそれについて話します。

あなたが再び日本に来たときに、私はヒップホップダンスをやってみるつもりです。

あなたの友人、
アキより

[3]

ケイコとサトシ、ナナは東京の高校生です。ジョンはオーストラリア出身の高校生です。彼らは昼食後に、自分たちの教室で話しています。

ジョン： やあ、ケイコ。やあ、サトシ。君たちは何をしているの？
ケイコ： こんにちは、ジョン。こんにちは、ナナ。私たちは次の図書館だよりの記事を書いているところよ。
サトシ： 僕たちは学校の図書委員会のメンバーなんだ。
ジョン： ああ、なるほど。図書館には英語の本があるの？
ケイコ： ええと、私たちはちょうど図書館だよりにそのことについて書いていたところなの。私たちにはあまり英語の本がないので、何冊か新しい英語の本を買う予定なの。それらは来月に届く予定よ。
ジョン： それはいいね。それらが届いたら、どうか僕に教えてね。僕はそれらを読みたいんだ。
ケイコ： いいわよ。
ナナ： あなたは本を読むのが好きなの、ジョン？
ジョン： うん、でも僕は最近、本を読むための十分な時間がないんだ。
サトシ： わかるよ。僕も去年、同じ問題があったよ。
ジョン： 本当？
サトシ： うん。そして僕たちの学校の多くの生徒も同じ問題を抱えているんだ。僕たちは学校の全生徒に本を読むことについていくつか質問をしたんだ。僕たちの調査によれば、彼らの60パーセント以上が自分たちには読む時間がないと言ったんだ。
ジョン： 僕は、彼らは自分たちの宿題や部活動のために忙しいのだと思うよ。

第2回(10月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話文を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話文は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Aya: Look at this photo, Bob. It's Mt. Fuji.
 Bob: Wow, it's beautiful, Aya. Did you take it in Shizuoka?
 Aya: No. I took it in Tokyo last week.
 Bob: I didn't know we could see Mt. Fuji in Tokyo.
 Aya: We can see it from some places in Tokyo. Have you ever climbed Mt. Fuji?
 Bob: Yes. I climbed it in Yamanashi last summer. Actually, I like climbing mountains. I often enjoyed it when I was in New Zealand.
 Aya: Do you have any photos of the mountains in New Zealand?
 Bob: Sure. I will show them to you later. (3秒の間)

Question: Where did Aya take the photo of Mt. Fuji?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Jane: Taro, are you free this Sunday?
 Taro: Yes, Jane. Why?
 Jane: Well, my sister and I will play tennis and have lunch in the park near our house. I think the flowers will be beautiful this weekend. Do you want to come with us?
 Taro: Sure. I like flowers. I will bring my camera.
 Jane: Good. My sister will make lunch for all of us. Do you have a tennis racket?
 Taro: No, but my sister has one. I will bring hers.
 Jane: OK. I will bring a guitar, so let's enjoy singing after having lunch. (3秒の間)

Question: What will Taro bring to the park this Sunday?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Rumi: Hi, Peter. I hear you are going to return to Australia.
 Peter: Yes, Rumi. I will leave Japan on December 23. Please visit me in Australia someday.
 Rumi: Sure. Actually, my brother lives in Sydney, and I will visit him in August next year.
 Peter: Really? What does he do there?
 Rumi: He teaches Japanese at a language school. He started working there last January.
 Peter: I see. Have you ever visited Australia?
 Rumi: Yes. I went to Sydney to see my brother last March. We visited a zoo and enjoyed seeing some unique animals there.
 Peter: That's nice. (3秒の間)

Question: When did Rumi visit Australia? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、ある日の Sakura 美術館での外国人来館者に向けての館内放送です。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを6語の英語で書きなさい。なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Thank you for visiting Sakura Museum today. This museum opened ten years ago. There are a lot of interesting things to see in this museum. Visitors can also enjoy walking around the Japanese garden outside. Today we will have a tea party in the garden from eleven to three. Please come to the tea party and enjoy green tea. When you are hungry, please visit the restaurant. It is open from ten to five. If you want to get something for your friends or family, you should visit the museum shop. You can find many things such as books, posters, and cards. The museum shop is next to the restaurant.

Next month, we will have two special events. From the third to the sixth, we will have a music concert. Visitors can enjoy traditional Japanese music in the hall. And from the twenty-third to the twenty-seventh, visitors can enjoy the world of *ukiyo-e* pictures. We hope to see you again at the special events. Thank you. (3秒の間)

Question 1: Where can visitors drink green tea today? (5秒の間)

Question 2: What kind of music can visitors enjoy from the third to the sixth of next month? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第3回
(11月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> ウ <対話文2> ア <対話文3> エ

【問題B】 <Question 1> イ

<Question 2> 【例】 It is to watch[see] fireworks.

② 1 ウ 2 イ 3(1) エ

3(2) 【例】 It's my mother's strawberry pie. My grandfather grows strawberries in Tochigi, and he sends a lot of strawberries every spring. With those strawberries, my mother makes strawberry pie and it's very good. (3文)

③ 【問1】 ア 【問2】 ウ 【問3】 ウ 【問4】 エ 【問5】 エ 【問6】 ア 【問7】 イ

④ 【問1】 ウ 【問2】 エ→ア→ウ→イ (完答) 【問3】 (1) イ (2) ア (3) エ

【問4】 (1) イ (2) エ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】 英問英答。4点満点。What is ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) ここでは、「リング狩りイベントを始めること」が話題。円グラフ参照。その内容を答えた生徒の割合が「40%」であり、マサ(Masa)が「80人の生徒に質問した」と述べていることから、実際に答えた生徒の数は「32人」。

(B) 空所に続けて、「…ほかの回答ほど人気ではなかったですが、…」とトビー(Toby)が説明していることに注目。円グラフ参照。他のどの回答よりも答えた人の割合が少なかったのは、「インターネットで動画を配信すること」。

2 (A) 続く内容から、マサが提案したのは平日で、また月曜日と火曜日、そして週末以外の曜日であるとわかる。チラシ参照。「11月の第1木曜日にも楽しむことができる」とある。(B) ここまでのやり取りから、トビーが用意すべき金額は、リング狩りの料金(500円)+リングジャム(事前予約により無料)+リング1.5kg(2,000円)+リング配送料(700円)=3,200円。

3 (1) エ「トビーはルバーブの茎が梅干しのようにとてもすっぱいと言い、また彼はルバーブパイがとても好きです」という意味の文で、メールの本文第2段落の内容と合っている。

(2) 【部分点あり】 条件付自由英作文。12点満点。

○2022年度の入試形式

「2022年度都立高等学校入学選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「僕(=マサ)はあなた(=トビー)の質問に答えてみます。実は、僕はスイーツがとても好きで、僕のいちばん好きなスイーツの一つを、僕はあなたに話します」という文に続くように「三つの英語の文」を書

くというもの。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「トビーに伝えたい内容を一つ取り上げ、それに関する具体的な説明を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

・ケース1「トビーに伝えたい内容を一つも取り上げていない」

・ケース2「トビーに伝えたい内容を複数取り上げている」

・ケース3「それに関する具体的な説明が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

・1文しかない場合…8点減点。

・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 下線部の「それは僕の家族も同じです」とは、直前のエミ(Emi)の発言を受けてのもの。エミは、上昇するガソリン価格の影響で、自分の家族の生活スタイルが変わったことを説明していることから、その内容に近いものを選ぶ。

【問2】 直前でジュン(Jun)が、上昇するガソリン価格の原因の一つについて説明している。ジュンは、日本円とアメリカドルの関係を話題に取り上げて説明していることから、その内容に近いものを選ぶ。

【問3】 下線部の「それはおもしろいですね」とは、直前のエミの発言を受けてのもの。エミは、上昇するガソリン価格が自分の家族にもたらした良い影響の例を紹介していることから、その内容に近いものを選ぶ。

【問4】 下線部でユウタ(Yuta)は、電気自動車には問題があると述べている。その問題の内容は、次のユウタの発言内で、「日本にはあまり多くの充電ステーションがありません。電気自動車をより人気にするためには、多くの場所により多くの充電ステーションがなければなりません」と説明されている。この内容に近いものを選ぶ。

【問5】 他のみんなが自分のスピーチについて多くの情報を与えてくれたことに、エミが感謝していることに注目。それを受けて、エイダ(Ada)が「あなたは運がいいわね、エミ」と述べたのだから、ここまでのやり取りがすべてエミの宿題にだけ役立つものであることに周りの友人たちが気づいたとわかる。

【問6】 本文中の各人物の発言内容をていねいに追うこと。A「エイダは、社会の授業の宿題について質問します(エイダの1番目の発言)」, B「エミは、上昇するガソリン価格の良いことについて話します(エミの5, 6番目の発言)」, C「ジュンは、ガソリン価格が自分の父親にとってとても重要であると言います(ジュンの2番目の発言)」, D「ユウタは、自分の兄が、ガソリンを使い過ぎないようにゆっくりと運転すると言います(ユウタの4番目の発言)」だから、ACBDの順。

【問7】 (A) 対話文全体の内容から、エイダたちが話し合ったのは「ガソリン価格」について。(B) ユウタの3番目の発言の内容から、「今年の平均価格(163.1円)は、2017年の平均価格(121.7円)よりもおよそ40円高いです」に。

④ [問1] マニラで再会した電車に対する自分の思いを語ったカズヤ(Kazuya)に対して、駅員は「だからこの電車はあなたの『古い友人』のようなものですね。私たちはこの電車をよく世話しなければなりません」と述べている。カズヤの電車に対する思いを駅員が受け止めてくれたから、カズヤはうれしくなったのである。

[問2] ア「カズヤはタクシーの中で、自分にとって見覚えのある電車を見ました(本文第4段落)」、イ「カズヤは英語の授業で、古い電車について話しました(第8段落)」、ウ「カズヤはマニラの大きな駅で、古い電車の写真を何枚か撮りました(第7段落)」、エ「カズヤは7月31日に、古い電車にさようならを言うために駅に行きました(第3段落)」だから、エアウイの順。

[問3] (1) 本文第4段落中ほどから、「カズヤが自分の母親と一緒にタクシーに乗っていたとき、運転手はマニラの交通量は世界の他のどの国よりも悪いと言いました」という意味の文に。

(2) 本文第5段落から、「カズヤが自分の父親と話したとき、カズヤの父親は、フィリピンのようないくつかの国々には日本から古い電車を受け取ったり買ったりすると言いました」という意味の文に。

(3) 本文第6段落から、「マニラの駅で電車を注意深く見たあと、カズヤはそこの電車が日本から来たと思いました」という意味の文に。

[問4] (1) 「古い電車で一人のとき、カズヤは何をしましたか」に答える。本文第2段落から、「彼は、本を読んで楽しみました」。

(2) 「古い電車のためのお別れ会に参加したあと、カズヤはどう感じましたか」に答える。本文第3段落から、「多くの人にその電車が愛されていることを知ったので、彼はうれしかったです」。

全 訳

①

[問題A]

<対話文1>

ボブ： ハナ、君はバスケットボール部に入っているよね？君たちはいつ練習するの？

ハナ： 私たちは火曜日から土曜日まで毎日練習するわ。なぜ聞くの？

ボブ： ええと、僕はその部に入ることを考えているんだ。

ハナ： それはすばらしいわ、ボブ。何でも私に聞いて。

ボブ： ありがとう。僕はバスケットボールを一度もしたことがないんだ。それでも大丈夫？

ハナ： ええ。実は、その部に入ったときに、私はやり始めたのよ。だから心配しないで。

ボブ： 本当に？よかった。

質問：ハナの部は週に何回練習しますか。

<対話文2>

サリー： ケンジ、あなたはヤマトの誕生日のパーティーに何を持っていくの？

ケンジ： 僕はフルーツジュースを持っていくつもりだよ、サリー。君はどうなの？

サリー： 私は彼のためにアップルパイを作るつもりよ。

ケンジ： それはいいね。僕はマキも来ると聞いているよ。

サリー： あなたの言うとおりのよ。彼女は昨日、私に「私は彼のためにとてもすてきなものを買ったのよ」と言ったの。

ケンジ： それは興味深いな。マイクはどう？君は彼について何か知ってる？

サリー： ええ。彼はヤマトのために歌を歌うつもりよ。彼がその歌を作ったのよ。

ケンジ： 本当？彼はとても上手に歌うので、ヤマトは喜ぶだろう。

サリー： そうね。私は彼がその日、楽しい時間を過ごすことを願っているわ。

質問：彼らは何について話していますか。

<対話文3>

チカ： もしもし？

ジョンソン氏： もしもし。こちらはアラン・ジョンソンです。

チカ： あら、ジョンソンさん。チカです。

ジョンソン氏： こんにちは、チカ。元気でいるかい？

チカ： 私は元気です、ありがとうございます。あなたはいかがですか。

ジョンソン氏： 元気だよ、ありがとう。ええと、君のお父さんと話せるかな？私は私たちの仕事について彼に聞きたいことがあるんだ。

チカ： あっ、彼はいま、家にいません。メッセージを預かりましょうか。

ジョンソン氏： いや、結構。私はあとで彼にEメールを送るよ。では。

チカ： さようなら。

質問：ジョンソン氏はなぜチカの家に電話したのですか。

[問題B]

こんにちは、皆さん。皆さんはどの季節がいちばん好きですか。祖父母の家を訪ねることができるのと、夏祭りを楽しむことができるので、私は夏がいちばん好きです。毎年夏に、私の家族と私は1週間、長野の祖父母の家に滞在します。彼らの家の近くに湖があり、父と兄、私はそこで水泳を楽しみます。私はまた祖父と一緒に山登りを楽しむこともできます。彼は山登りが好きで、それについてよく知っています。私たちが山の中を歩くときに、彼は私に植物や動物について多くのことを話してくれます。

8月には、私たちの市は第2土曜日に夏祭りを開きます。多くの人がお祭りを訪れて、私はそこでたくさんの友だちに会うことができます。私はかき氷を食べることや盆踊りを踊るのが好きですが、花火を見ることがいちばん好きです。

皆さんはどうですか。皆さんはどの季節がいちばん好きですか。どうぞ私に話してください。

質問1：だれがユミと一緒に湖で水泳を楽しみますか。

質問2：夏祭りでするユミのいちばん好きなことは何ですか。

②

1

トビー： 君は発表で何について話すつもりなの？

マサ： 僕は自分たちの市のリングについて話すつもりだよ。僕はリングはおいしいと思うけど、他の市の多くの人とはそれらについて知らないと思うんだ。僕はリングを有名にしたいので、この学校の80人の生徒に質問を1つしたんだ。

トビー： それはすばらしいね。その質問は何だったの？

マサ： 僕は「私たちの市のリングを有名にするためのいちばん良い方法は何ですか」と質問したんだ。これらがその解答だよ。見て。

トビー： わあ、32人の生徒がリング狩りイベントを始めることがいちばん良い方法だと思っているんだね。

マサ： うん。君はどう思う？

トビー： 私はそれは良い考えだと思うよ。リング狩りは楽しいよ。楽しいことがあるときには、人びとはそれについて自分たちの友だちか家族に話すよ。そうすれば、多くの人々がリングについて知るだろう。

マサ： 他の回答についてはどう思う？

トビー： インターネットで動画を配信することは他の回答ほど人気ではなかったけど、僕はそれはおもしろいと思うよ。

マサ： 同感だね。

2

マサ： 僕たちの市のリンゴ果樹園がリンゴ狩りイベントを行う予定だよ。君はそれに参加することに興味はある？

トビー： それは楽しそうだね。一緒にそれに参加しようよ。僕たちはいつ参加しようか？

マサ： 11月3日はどう？

トビー： 次の木曜日だよな？僕たちは学校があるよ。それに果樹園は毎週月曜日と火曜日、週末にしかイベントを行わないよ。

マサ： ここを見て。果樹園はその日もイベントを行うよ。その日は国民の祝日だよ。

トビー： おお、君の言うとおりでね。それなら、その日に行こうよ。わあ、僕たちはリンゴジャムを買えるよ。実は、僕はそれが大好きなんだ。

マサ： それはいいね。10月29日だから、もし今日予約すれば、僕たちはリンゴジャムの無料チケットをもらえるよ。僕が今晚それをするよ。

トビー： どうもありがとう。僕はホストファミリーにもいくつかリンゴを買いたいんだ。

マサ： どのくらいほしいの？

トビー：僕はそれらを1.5キログラム買うつもりなんだ。君は、僕がそれらを家に持ち帰れると思う？

マサ： いや。それは重すぎるよ。

トビー： それなら、配送サービスを利用するよ。

マサ： 君はその日、3,200円必要となるよ。

トビー： わかった。

3

(1)

マサへ、

僕の日本滞在中はどうもありがとう。僕は君と一緒にすばらしい時を過ごしました。僕は日本では君と一緒に多くのことを楽しみ、そしてそれらのうちの1つはリンゴ狩りイベントです。リンゴはとてもおいしくて、僕たちは一緒にそれらをたくさん食べましたね。君のお母さんはその日、僕たちにオニギリを作ってくれました。でも、僕たちはリンゴをたくさん食べすぎて、君のお母さんのオニギリを食べることができませんでした。果樹園からのリンゴが翌日、僕のホストファミリーに届いて、僕のホストファミリーはそれらをとても気に入ってくれました。僕たちが一緒にそれらを食べて楽しんだときに、僕はとてもうれしく思いました。

僕の母はよく家族に甘いものを作ってくれます。彼女はたくさんの種類のものを使ってそれを作ります。君は今までにルバーブのことを聞いたことがありますか。それは一種の植物で、僕の国では人気があります。僕たちはその茎を食べますが、それは料理されないときは、梅干しのようにとてもすっぱいです。だから、僕たちはルバーブジャムやルバーブパイを作ります。ルバーブパイは僕の大好きな甘いものの1つです。君の大好きな甘いものは何ですか。どうか君の次のEメールで僕に教えてください。

君の友だち、
トビーより

(2)

こんにちは、トビー、

Eメールをありがとう。僕も君と一緒にとても楽しい時を過ごしました。僕はリンゴ狩りイベントをとてもよく覚えています。とても楽しかったです！僕はルバーブのことを一度も聞いたことがないので、母にそれについて聞きました。彼女はときどき青果店でそれを見かけると言っていました。彼女はまたルバーブパイを作ってみようとも言っていました。

僕は君の質問に答えてみます。実は、僕は甘いものがとても好きで、自分のいちばん好きな甘いものの1つを君に話します。

母がルバーブパイを作るときに、僕は写真を撮って君にそれを送ります。

あなたの友だち
マサ

3

ジュンとエミ、ユウタは東京の高校生です。エイダはアメリカ合衆国出身の高校生です。2022年5月のある日、彼らは放課後に自分たちの教室で話しています。

エイダ： 私たちの社会の授業の宿題は何？

ジュン： 僕たちは自分たちの生活の中の大きな問題についてスピーチの準備をしなければならないんだ。

エイダ： あっ、私はいま思い出したわ。私たちの生活の中には多くの問題があるから、私にとって1つを選ぶことは難しいわ。

エミ： 昨夜、家族と話していたときに、私は1つ見つけたわ。

ユウタ： それは何だい？

エミ： それは上昇するガソリン価格よ。それは私の家族の日々の生活に影響しているわ。たとえば、両親は自分たちの車をあまり使わないようにしているわ。これは私の家族が週末に、あまり外出しないということを意味しているの。

ユウタ： それは僕の家族でも同じだね。

ジュン： 僕は昨日、父とその問題について話したんだ。彼はトラック運転手なので、ガソリン価格は彼にとってとても重要なんだ。

エイダ： だれか私に日本のガソリン価格について話してくれない？

ユウタ： 僕ができるよ。2017年には、日本のレギュラーガソリンの平均価格は1リットルあたり121.7円だったんだ。でも、今年の3月には163.1円だったんだ。

エミ： 本当に？なぜガソリン価格は上昇したの？

ジュン： 父は上昇するガソリン価格にはいくつかの理由があると言っていたよ。それらのひとつは、日本のガソリン価格は日本円とアメリカドルの間の為替相場に依存しているということなんだ。ガソリンは石油から作られるよね。日本は石油をドルで買うんだ。現在、日本円はアメリカドルに対して弱いので、僕たちは石油を手に入れるために、は

るかに多くのお金を払わなければならないんだ。だから、ガソリンは高くなるんだ。

エミ： なるほど。

エイダ： 上昇するガソリン価格は私の国でも深刻な問題よ。

エミ： ええと、これは奇妙に聞こえるかもしれないけど、私は上昇するガソリン価格についていくつか良いことがあると思うの。

ジュン： どういう意味なの？

エミ： 私たちの家の近くのスーパーマーケットのような多くの場所まで歩いて行くので、私の両親は以前より健康よ。家で、私たちはより多くの時間を一緒に過ごすので、以前より多く話しているわ。私は、自分の家族は以前より親密だと思うの。

ユウタ： それはおもしろいね。僕の兄は運転するのが好きで、今もよくドライブに行くけど、今はガソリンを節約するためにゆっくりと運転しているよ。もし多くの人が同じことをすれば、僕たちは多くのガソリンを節約できるね。

エイダ： また、もし人びとがゆっくりと運転すれば、車の事故はより少なくなるわ。

ジュン： 君の言うとおりでね。

ユウタ： 僕の父は自分は将来、電気自動車がほしいと言っていたんだ。

エイダ： あら、私は電気自動車は世界で人気になってきていると聞いているわ。

エミ： それらは動かすのにガソリンをまったく必要とせず、二酸化炭素をまったく排出しないわ。だから、それらは環境にとっても良いわね？

エイダ： そのとおりよ。

ユウタ： 僕はそれらが環境に良いことを知っているよ。でも、僕はそれらについて1つ問題があると思うんだ。

エミ： それは何？

ユウタ： 日本にはあまり多くの充電ステーションがないんだ。電気自動車をより人気にするためには、多くの場所により多くのそれらがなければならないよ。

ジュン： あっ、僕は電気自動車について別の問題を知っているよ。それらはとても高価なんだ。

エミ： 私はそれは知らなかったわ。

ジュン： 電池はとても費用がかかるので、電気自動車は高価なんだ。

ユウタ： 僕のおじは昨年、車を買ったんだ。彼は電気自動車がほしかったけど、それは同じようなガソリン車よりもおよそ100万か200万円高かったんだ。だから、彼はそれを買わずに、ハイブリッド車を買ったんだ。

エイダ： 私は自動車会社は将来、ガソリン車を売のをやめなければならないと聞いているわ。

エミ： ええと、みんなはたくさんを知っているのね！助けてくれてどうもありがとう。私は、授業で良いスピーチをしようわ。

ジュン： あっ、しまった。僕たちは君のためだけに話してしまったね！

エイダ： あなたは運がいいわね、エミ。

ユウタ： さて、僕たちは自分たち自身のスピーチについて考えなければならないね！

4

カズヤは高校生でした。彼の学校は家から少し遠かったので、彼は電車で学校に通っていました。

6月のある日、部屋でスマートフォンでニュースを読んでいたときに、カズヤはその電車に関する記事を見つけました。それには鉄道会社が7月31日にその電車を新しいのと取り替える予定だと書いてありました。その古い電車がとても好きだったので、彼は悲しくなりました。彼の部屋の壁には、その電車の絵がかかっていた。7歳のときに、彼はそれを描きました。彼はそれを見て、「僕は毎日、学校に行くのにその電車に乗っていた。友だちといたときに、僕は電車の中で彼らと話して楽しんだ。ひとりのときには、僕は本を読んで楽しんだ。僕は電車の中で多くの時間を過ごし、いつも電車の中で楽しかった。僕はこのニュースを知ってとても悲しい」と思いました。

その古い電車の最後の日に、カズヤはその電車のお別れ会に参加するために駅に行きました。彼が駅に着いたとき、そこに

はすでに大勢の人がいました。彼らはその古い電車にさよならを言うためにそこにいました。駅に着く前に、カズヤは悲しく思いました。そこで大勢の人を見たとき、彼は「僕はその電車が多くの人に愛されていることを知って幸せだ。僕は今日、ここに来れてよかった」と思いました。

数か月後、カズヤは母親とフィリピンに行きました。彼の父親がマニラで働いていて、カズヤと母親が彼に会いにそこに行きました。マニラの空港で、カズヤと母親はカズヤの父親の家に行くためにタクシーに乗りました。道路には、とても多くの車があり、タクシーはあまり動きませんでした。カズヤの母親がタクシーの運転手に「道路には多くの車があるのね」と言いました。運転手は「ええ。マニラではいつも毎朝夕、交通量がひどいのです。私は、マニラは世界で最も交通量がひどいと思います」と言いました。彼らの会話を聞いていたとき、カズヤは窓から外を見て、鉄道線路を見ました。彼はタクシーの運転手に「向こうに鉄道があります。僕は、より多くのマニラの人たちは電車に乗るべきだと思います」と言いました。タクシーの運転手は「電車はそれほど頻繁に来なくて、いつも電車には多くの人がいます。さらに、電車はとてもゆっくりと走るので、人びとは車を使うのです」と言いました。そのとき、カズヤは1両の電車を見かけました。それは彼に見覚えがありました。彼は「その電車は自分の市の古い電車を思い出させてくれた。僕はあとで父とそれについて話そう」と思いました。

長い乗車後、カズヤと母親は彼の父親の家に着きました。カズヤは父親にその電車について話しました。彼は「お父さん、僕は1両の電車を見かけたよ。それは僕たちの市の古い電車のように見えたんだ」と言いました。父親は「私は、それはその古い電車そのものだと思うよ」と言いました。カズヤは「僕はそれを信じられないよ！」と言いました。父親は「ときどき古い電車が外国に譲られたり、売られたりするんだ。フィリピンはそのような国のひとつなんだよ」と言いました。カズヤは父親に自分はもう一度その電車を見たいと言いました。すると父親は「いいよ。明日、駅に行こう。君はそこでその電車を見ることができと思うよ」と言いました。

翌日、カズヤの家族はマニラの大きな駅に行きました。カズヤはその電車を見つけて、「あれは僕が昨日見た電車だ！」と言いました。カズヤはその電車のところに走って行き、注意深くそれを見ました。彼は「電車の座席や手すり、つり革は同じだ。そうだ、これはその電車だ」と言いました。

カズヤはその古い電車の写真を撮り始めました。しばらくして、ひとりの駅員がやって来て、彼に話しかけました。彼はカズヤに「この電車は君にとって特別なのですか」と言いました。彼は「はい。この電車は日本から来たのですよね？僕はそれがとても好きで、子どもの頃、その電車の絵をたくさん描きました。僕は学校に行くためにこの電車に乗りました。僕は再びその電車を見られてとてもうれしいです」と言いました。駅員は「だから、この電車は君の『古い友人』のようなものですね。私たちはこの電車をよく世話するべきですね」と言いました。カズヤはそれを聞いてうれしく思いました。

日本に戻ったあと、カズヤは英語の授業でその電車についてスピーチをしました。スピーチの中で、彼は「僕はフィリピンで僕の『古い友人』のひとりに会いました。僕は、『古い友人』がそこでの新しい生活を楽しむことを願っています」と言いました。

第3回(11月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを5語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話文を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話文は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Bob: Hana, you are in the basketball club, right? When do you practice?
Hana: We practice every day from Tuesday to Saturday. Why do you ask?
Bob: Well, I'm thinking about joining the club.
Hana: That's great, Bob. Ask me anything.
Bob: Thank you. I've never played basketball. Is that OK?
Hana: Yes. Actually, I started playing when I joined the club. So don't worry.
Bob: Really? That's good. (3秒の間)

Question: How often does Hana's club practice a week?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Sally: Kenji, what will you bring to Yamato's birthday party?
Kenji: I will bring some fruit juice, Sally. How about you?
Sally: I will make an apple pie for him.
Kenji: That's nice. I hear Maki will also come.
Sally: You're right. She said to me yesterday, "I bought something very nice for him."
Kenji: That's interesting. How about Mike? Do you know anything about him?
Sally: Yes. He will sing a song for Yamato. He made the song.
Kenji: Really? He sings very well, so Yamato will be happy.
Sally: Yes. I hope he will have a good time that day. (3秒の間)

Question: What are they talking about? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

(電話の着信音)
Chika: Hello?
Mr. Johnson: Hello. This is Alan Johnson.
Chika: Oh, Mr. Johnson. This is Chika.
Mr. Johnson: Hello, Chika. How have you been?
Chika: I've been good, thank you. How about you?
Mr. Johnson: Great, thank you. Well, can I speak to your father? I have something to ask him about our work.
Chika: Oh, he is not at home now. May I take a message?
Mr. Johnson: No, thank you. I will send him an e-mail later. See you.
Chika: Goodbye. (3秒の間)

Question: Why did Mr. Johnson call Chika's house?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(対話文3と質問の繰り返し)
これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、東京の中学生の Yumi が、英語の授業で行ったスピーチです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを5語の英語で書きなさい。なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Hi, everyone. What season do you like the best? I like summer the best because I can visit my grandparents' house and I can enjoy the summer festival. Every summer, my family and I stay at my grandparents' house in Nagano for one week. There is a lake near their house, and my father, brother, and I enjoy swimming there. I can also enjoy climbing mountains with my grandfather. He likes climbing mountains and he knows a lot about them. When we walk in the mountains, he tells me many things about plants and animals.

In August, our city has a summer festival on the second Saturday. Many people visit the festival, and I can meet many friends there. I like eating *kakigori* or dancing *bon-odori*, but I like watching fireworks the best.

How about you? Which season do you like the best? Please tell me. (3秒の間)

Question 1: Who enjoys swimming in the lake with Yumi? (5秒の間)

Question 2: What is Yumi's favorite thing to do at the summer festival? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第4回
(12月)

【解答】(配点: ②3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> エ <対話文2> ウ <対話文3> イ

【問題B】 <Question 1> エ <Question 2> 【例】 She is interested in school life in Australia.

② 1 イ 2 ウ 3(1) ウ

3(2) 【例】 I want to learn how to play the guitar, so I want to join the music club. I hear there is one in my city, and some members play the guitar very well. I hope they will teach me.
(3文)

③ 【問1】 エ 【問2】 エ 【問3】 ア 【問4】 イ 【問5】 イ 【問6】 ウ 【問7】 ウ

④ 【問1】 イ 【問2】 ウ→イ→ア→エ (完答) 【問3】 (1) ウ (2) エ (3) ア

【問4】 (1) イ (2) エ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

(表記及び文法等の減点項目)

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト 【解説台本参照】

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。What is ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) ここでは、図書館を訪れた人たちの理由が話題。グラフ参照。最も割合が高かったものは、「本を借りる」ため。(B) 空所の前でシホ(Shiho)は、自分が図書館に行く理由が本を読むためではないと答えていることに注目する。また、空所のあとでエミリー(Emily)が、「コンピュータを使いたい人びとよりも、より多くの人がその理由で図書館に行きます」と述べていることに注目する。グラフ参照。条件に当てはまる理由は、「勉強する」ため。

2 (A) 空所のあとでエミリーが「私の空手のクラスは12時ごろに終わります。だから私は両日ともそのイベントに参加することができます」と述べていることに注目。イベントの一覧参照。2日間あって両方とも午後で開催されるのは「絵本を作る」イベント。(B) ここでは、シホがどの日程で、「落語風に自分の好きな本について話す」イベントに参加するかが話題。直前でエミリーがシホの話を知りたいと述べていることに注目。エミリーは日曜日の午前

に空手のクラスがあることから、シホは木曜日である「11月3日」を選んだとわかる。

3 (1) ウ 「自分の国に戻ったあと、エミリーはオンラインのブッククラブのメンバーになりました」という意味の文で、メールの本文第2段落の内容と合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2022年度の入試形式

「2022年度都立高等学校入学選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「私(=シホ)はあなた(=エミリー)の質問に答えてみます。ブッククラブと空手クラブもおもしろく聞かえますが、私には別の考えがあります。それについて、私はあなたに話します」という文に続くように

「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「エミリーの質問」とは、本文3ページのエミリーがシホに送ったEメールの本文第3段落の後半に書かれている「…もしあなたが新しいことを始めるために新しいクラブに参加するなら、あなたはどのクラブに参加したいと思いますか」という質問。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるよう書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「エミリーに伝えたい内容を一つ取り上げ、それを上げた理由を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるよう書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

・ケース1 「エミリーに伝えたい内容を一つも取り上げていない」

・ケース2 「エミリーに伝えたい内容を複数取り上げている」

・ケース3 「それを上げた理由が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

・1文しかない場合…8点減点。

・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった<表記及び文法等>に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しましょう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 ショウタ(Shota)がしたいのにできないと述べているのは、オンラインゲームのこと。その理由はショウタの3番目の発言で説明されている。ゲームをしすぎて宿題をしなかったため、怒った母親にスマートフォンを取り上げられたのである。

【問2】 下線部の「僕はわかります」とは、直前のショウタの発言を受けてのもの。ショウタは、「…でもときどき、僕はそれら(=ゲーム)をするのを止められません」と述べていることから、トム(Tom)も、ゲームをやめるのが難しいときがあるとわかる。

【問3】 下線部の「僕はあなたに同意します」とは、直前のマイカ(Maika)の発言を受けてのもの。マイカは、メッセージを送ったりゲームをしたりすることは時間の無駄であると述べている。トムはそれに同意しているのだから、その内容に近いものを選ぶ。

【問4】 マイカがショウタに質問をした本当の理由は、対話の中で徐々に明らかになっていく。全訳参照。毎日2時間スマートフォンを使うというショウタに対して、スマートフォンにコントロールされないようにと諭しているのがマイカの真意である。

【問5】 自分の夢がまだ見つからないアリサ(Arisa)から、どうやって夢を見つけるかを尋ねられたショウタがその方法について説明する場面。下線部の直前の発言とあわせて、ショウタはアリサに、スマートフォンを使って夢を見つけるべきだ、と冗談を言っているのである。

【問6】 本文中の各人物の発言内容をていねいに追うこと。A「この前の日曜日におよそ10時間オンラインゲームをしたとショウタは言います(ショウタの3・4番目の発言)」, B「トムは自分の国の高校生について話します(トムの8番目の発言)」, C「ショウタは緊急事態にスマートフォンを使うことについて話します(ショウタの6番目の発言)」, D「マイカは自分のスマートフォンの使い方について話します(マイカの3番目の発言)」だから、ADCB

の順。

〔問7〕 (A) 対話文全体の内容から、トムたちが話し合ったのは「スマートフォン」について。 (B) マイカの4番目の発言の内容から、マイカは「まんが家」になるために自分の時間を使いたいと思っている。

④ 〔問1〕 下線部は直前のワタル(Wataru)の発言に答えたもの。カナ(Kana)が保育園で働くことに興味があるとは知らなかったと述べるワタルに対して、カナが「そうではありません」と述べたのだから、「カナは保育園で働くことに興味がありません」を表す文に。

〔問2〕 ア「オカ先生(Mr. Oka)はカナに、ユリ(Yuri)が良い先生になるだろうと言いました(本文第6段落)」、イ「ユリは保育園の部屋にあるピアノについて話しました(第4段落)」、ウ「ワタルは自分が保育園の先生になりたいと思っていると言いました(第2段落)」、エ「カナは前の日について、ワタルとユリに謝りました(第7段落)」だから、**ウイアエ**の順。

〔問3〕 (1) 本文第2段落後半から、「他人とコミュニケーションを取ることが得意ではなかったのに、ユリは職業体験プログラムの前日は不安でした」という意味の文に。

(2) 本文第5段落から、「カナがそうじをすることをやめてピアノを弾いて楽しんだので、ワタルは職業体験プログラムの2日目に怒っていました」という意味の文に。

(3) 本文第6段落から、「ユリが男の子と女の子と一緒に本を読み始めたとき、カナはとても驚きました」という意味の文に。

〔問4〕 (1) 「職業体験プログラムの2日目、何がカナをとてうれしくしましたか」に答える。本文第4段落から、「歌を歌っている子どもたちの幸せな顔を見ること」。

(2) 「職業体験プログラムの3日目、なぜカナは謝りましたか」に答える。本文第6・7段落から、「彼女が他人の気持ちについて考え始めたから」。

全 訳

1

〔問題A〕

<対話文1>

アン： こんにちは、ケンタ。私は昨日、お婆と私の大好きな歌手のコンサートを見に行ったのよ。

ケンタ： 楽しそうだね、アン。それはどうだった？

アン： それはわくわくしたわ。グリーンホールは人でいっぱいだったの。

ケンタ： グリーンホール？それはどこにあるの？

アン： それはワカバデパートの近くにあるわ。

ケンタ： えっ、僕はそのデパートを知ってるよ。僕は先月、兄とそこに行ったんだ。

アン： 私はよくそこに行くのよ。この前の日曜日にそこに行ったとき、私は有名なアーティストを見かけたわ。

ケンタ： 本当に？君の幸運な日だったね。

質問：だれがきのう、アンと一緒にコンサートに行きましたか。

<対話文2>

ミホ： 眠そうね、トム。

トム： そうなんだ、ミホ。僕は今朝早く起きたので、少し眠気を感じるんだ。

ミホ： なぜあなたは早く起きたの？

トム： 僕は朝に走り始めたんだ。

ミホ： それはいいわね。私は、走ることはあなたにとって良いと思うわ。あなたはいつ走り始めたの？

トム： 昨日だよ。僕は昨日の朝、4時半に起きて、10分後に走りに行って、50分間走ったんだ。しかし、僕は走ったあと、

疲れすぎたんだ。だから今朝、僕は5時に起きて、10分後に走りに行って、20分間しか走らなかったんだ。

ミホ： なるほど。

質問：トムは昨日の朝、何時に走り終えましたか。

<対話文3>

リエ： ジャック、あなたは向こうにいるあの女の子を知っている？私は彼女を知らないわ。

ジャック： 君はどっちの女の子のことを言っているの、リエ？アヤと話している女の子のことを言っているの？

リエ： いいえ。あなたは木の下で本を読んでいる女の子が見える？

ジャック： ああ、あの女の子。彼女はメグだよ。彼女は新入生なんだ。

リエ： そうなの？彼女はどこの出身なの？

ジャック： 僕は、彼女はニュージーランド出身だと聞いているよ。彼女のお兄さんもこの学校で勉強しているよ。君はボブを知っている？彼は彼女のお兄さんなんだ。

リエ： あら、私はボブを知っているわよ。彼はとても上手にバスケットボールをするのよ。

質問：メグは何をしていますか。

〔問題B〕

こんにちは、皆さん。私の名前はミカです。私は皆さんにこのビデオメッセージを送れてうれしく思います。私は皆さんの中には来月、私たちの学校を訪れる予定の人もいるということを聞いているので、皆さんに私たちの学校生活について少し話します。

私たちの学校には約500人の生徒がいます。私たちはたいてい月曜日から金曜日まで学校に来て、1日に6時間授業があります。大勢の生徒が放課後に、クラブ活動をしします。私たちにはたくさんのスポーツチームがあり、生徒たちはサッカーやテニス、バスケットボール、バレーボールのようなスポーツを楽しんでいます。私たちにはまた音楽部や演劇部、英語部のような部もあります。私は演劇部に入っています。実は、私は将来、俳優になりたいと思っています。

私は、ここでの学校生活は皆さんのとは異なっていると思います。たとえば、日本の生徒は自分たちの教室をそうじしします。多くの日本人は、生徒たちが自分たちの教室をそうじすることは大切だと思っています。しかし、皆さんはそれをしないそうですね？それでは、だれがそれをするのですか。私はオーストラリアの学校生活に興味があるので、皆さんが来られたら、どうか私にそれについて話してください。とにかく、私たち全員は、皆さんが私たちの学校に来てくれることをとてもうれしく思っています。さようなら。

質問1：ミカの夢は何ですか。

質問2：ミカは何に興味がありますか。

2

1

シホ： あなたは本を読むのが好きなの？

エミリー： ええ。私の両親も本を読むのが好きよ。だから、ロンドンの私の家にはたくさんの本があるわ。子どものころ、私はよく家で読んだわ。

シホ： ロンドンにいたとき、あなたは図書館にも行ったの？

エミリー： ええ。私はよく宿題に必要な本を借りるために、学校の図書室を訪れたわ。日本では、私はときどき週末に、本を読むために図書館に行くわ。

シホ： なるほど。このグラフを見て。私たちの町の図書館は来館者に彼らの図書館を訪れる理由を聞いたの。

エミリー： それはおもしろいわね。本を借りる来館者の割合が最も高いのね。

シホ： そうよ。私はそれを知って驚かなかったわ。でも、私の図書館に行く理由は違っているの。

エミリー： あなたの理由は何？本を読むため？

シホ： いいえ。私はよく週末や放課後に、勉強するためにそこに行くの。私の友だちもそれをするために図書館に行く

わ。

エミリー： なるほど。コンピューターを使いたい人びとよりも、より多くの人がある理由で図書館に行くのね。

シホ： そのとおりよ。見て。来館者のおよそ10パーセントが図書館でのイベントに参加するの。図書館ではどんな種類のイベントがあるの？

エミリー： 私もそれについて知りたいわ。その図書館のウェブサイトにアクセスしましょう。

2

エミリー： 市立図書館では週末に、いくつかのイベントがあるわね。あら、平日にもひとつイベントがあるわ。でも、学校があるから、私たちはそれには参加できないわね。

シホ： その日は国民の祝日だから、私たちは参加できるわよ。私たちはその日、学校がないわ。ところで、あなたは空手を練習し始めたのよね？あなたはいつ練習するの？

エミリー： 私は日曜日に、空手の学校に行くわ。

シホ： わかったわ。どのイベントに参加したらいいかについて考えましょう。私は「落語風に自分の大好きな本について話す」ことに興味があるの。一緒に行かない？

エミリー： 私は落語が好きだけど、「絵本を作る」のほうにより興味があるわ。

シホ： おもしろそうだけど、あなたは日曜日に空手の学校があるのよね。

エミリー： 私の空手教室は12時頃に終わるわ。だから、私は両日ともそのイベントに参加できるわ。

シホ： わかったわ。ええと、私は落語風に自分の大好きな本について話したいわ。私の祖父が落語についてよく知っているの、私は、彼がそんな風に話す方法を私に教えてくれると思うわ。

エミリー： それはいいわね。私はあなたの大好きな本について聞きたいわ。

シホ： そう？それじゃあ、私は11月3日のイベントに参加するから、聞きに来てよ。

エミリー： そうするわ！

3

(1)

シホへ、

私が日本にいる間、助けてくれてありがとう。私は市立図書館でのイベントを楽しみました。あなたはあなたの大好きな本について話しました。あなたが落語風に話すのを聞くことは私にとって少し難しかったけど、私はあなたのスピーチを楽しんで聞きました。より多くの人々がまだ読んでいない本に興味を持つようになるので、私はこのようなイベントは良いと思います。

ロンドンに戻ったあと、私はオンラインのブッククラブに参加しました。そのクラブのメンバーは毎週日曜日に、会合を持ちます。たいてい、およそ5人から10人のメンバーがその会合に参加して、お互いに自分たちの大好きな本を話し合います。それはとても楽しいです。あなたは私たちのブッククラブに参加したいと思うかも知れません。それから、私たちはインターネットで一緒に本について話すことができます。

私は空手も練習し続けています。私はロンドンで良い学校を見つけました。私はまだ空手があまりうまくはありませんが、よりうまくなっていると確信しています。さて、もし何か新しいことを始めるために新しいクラブに参加するなら、あなたはどんなクラブに参加したいですか。次のEメールでそのことについて私に話してください。

あなたの友だち、
エミリーより

(2)

こんにちは、エミリー、

Eメールをありがとう。私が自分の大好きな本について話すのをあなたが楽しんで聞いたことを聞いて、私はうれしいです。私もそのイベントを楽しみました。祖父のおかげで、私はうまくできたと思います。

私はあなたの質問に答えてみます。ブッククラブと空手クラブはおもしろそうですが、私には別の考えがあります。私はあなたにそれについて話します。

あなたはこれについてどう思いますか。あなたの次のEメールでそのことについて私に話してください。

あなたの友だち、
シホより

[3]

ショウタとアリサ、マイカは東京の高校生です。トムはオーストラリア出身の高校生です。彼らは放課後に、自分たちの教室で話しています。

トム： ショウタ、君は今夜またオンラインのゲームをするつもりなの？

ショウタ： 僕はしたいけど、できないんだ。

トム： おや、君は今夜忙しいの？

ショウタ： いや。いま、自分のスマートフォンを持っていないから、僕はできないんだ。

トム： どうしたの？

ショウタ： ええと、この前の日曜日に、僕は長時間ゲームをして、宿題をしなかったんだ。そうしたら、僕の先生が昨日、そのことについて母に電話したのさ。母はとても怒って、僕のスマートフォンを取り上げたんだ。

トム： ああ、なんてことだ。

アリサ： あなたはその日、どのくらい長くゲームをしたの？

ショウタ： 10時間ぐらいだよ。

マイカ： 10時間！私はそれを信じられないわ。私は、あなたのお母さんが怒ったと聞いて驚かないわ。私は長時間テレビゲームをすることはあなたの健康に良くないと思うわ。

ショウタ： わかっているけど、ときどき僕はそれらをするのを止められないんだ。

トム： 僕はわかるよ。

アリサ： 私も毎日2、3時間スマートフォンを使うわ。

マイカ： あなたもスマートフォンでゲームをするの？

アリサ： いいえ。私は友だちとメッセージを取りかわすためにそれを使っているわ。

トム： では、君はコミュニケーションのためにスマートフォンを使っているんだね。

アリサ：　　そうよ。私はソーシャルメディア上で写真や動画も共有しているの。私の友だちとオンラインで話すことはとても楽しいわ。だから、私はそれをするのを止められないの。私はときどきスマートフォンに時間を費やし過ぎちゃうの。あなたはどう、マイカ？

マイカ：　　私はたいてい家族にメッセージを送るためにスマートフォンを使っているわ。私はソーシャルメディアに興味がないの。だから、私は1日に10分か20分しかスマートフォンを使わないわ。

アリサ：　　あなたはふつう、ひまな時間に何をしているの？

マイカ：　　私は絵を描いているわ。私は漫画家になりたいので、自分の絵をより上手にするために自分の時間を使っているわ。私はメッセージを送ったり、ゲームをしたりすることに多くの時間を使いたくないの。私にとって、それらは時間のむだ使いのようだよ。

トム：　　僕は君に同意するよ。でも僕は、もし君がスマートフォンを適切に使うなら、それらは役に立つとも思うよ。たとえば、僕はオーストラリアの友だちや家族と簡単に連絡をとることができるんだ。もし僕が彼らに電話をかければ、多くのお金がかかるだろう。もし僕が彼らに手紙を送るなら、彼らはそれを受け取るのにおよそ1、2週間待たなければならないんだ。

ショウタ：　それらは緊急事態のときにも役に立つよね。もし僕たちが大きな地震にあったら、君たちはどうする？僕は、君たちは情報を探すためにスマートフォンを見ると思うんだ。

トム：　　僕は君たちに別の例を示すね。僕たちはスマートフォンを使うことによって、勉強のための情報を得ることができるよ。僕の国の多くの高校生は宿題をするために、スマートフォンを使っているんだ。

マイカ：　　私はスマートフォンは時には役に立つことを知っているわ。ショウタ、私は1つ質問があるの。あなたはふつう1日に何時間、スマートフォンを使っているの？

ショウタ：　2時間ぐらいだよ。

マイカ：　　あなたはその2時間の間、スマートフォンで何をするの？

ショウタ：　もちろん、僕はゲームをするよ。

マイカ：　　あなたは将来、プロのサッカー選手になりたいのよね？

ショウタ：　　そうだよ。それが僕の夢だよ。

マイカ：　　その2時間をあなたの夢のために使うのはどう？あなたはスマートフォンでサッカーに関する本を読むことができるわよ。あなたはサッカーの動画を見ることもできるわ。1日2時間は1か月約60時間で、1か月60時間は1年720時間よ。720時間は30日よ。私は、それはたくさんの時間だと思うわ。

アリサ：　　いま、わかったわ。スマートフォンには良い点と悪い点の両方があるのね。私たちはスマートフォンに自分たちをコントロールさせるべきではないわ。

マイカ：　　それが私の要点よ。

ショウタ：　君は厳しいけど、そのとおりだね。僕は、自分の時間の使い方について考えるべきだと思うよ。

マイカ：　　私はそれを聞いてうれしいわ。

アリサ：　　私は、自分はマイカからとても大切なことを学んだと思うけど、まず自分の夢を見つけなければならないわ。私はどうやればそれができるかしら？

トム：　　マイカ、アリサにそのやり方を話してあげたらどう？

マイカ：　　私はわからないわ。たぶんショウタがそれを知っているわ。

ショウタ：　君のスマートフォンに聞いてごらん、アリサ。それは何でも知っているよ。

トム：　　彼は冗談を言っているだけだよ、アリサ。

アリサ：　　わかっているわ。

[4]

カナは中学生でした。彼女はクラスメイトのワタルとユリと一緒に職業体験プログラムに参加する予定でした。彼らは3日間、保育園で働く予定でした。

プログラムの前日、カナは教室でワタルとユリと話していました。ワタルは「明日から、僕たちは保育園で働く予定だね。僕の夢は保育園の先生になることなので、僕はとてもわくわくしているんだ。カナ、僕は君が保育園で働くことに興味があるとは知らなかったよ」と言いました。カナは「私は興味はないわ。実は、私はどこでも働きたくないの」と言いました。彼は驚いて、彼女に「では、なぜ君は保育園を選んだの？」と聞きました。カナは「私はただ子どもたちと遊ぶだけでいいからよ。私は、それがいちばん簡単な仕事だと思うの」と言いました。彼は「なるほど。君はどうなの、ユリ？なぜ君は保育園を選んだの？」と言いました。ユリは「私も保育園の先生になりたいからよ。私は子どもがとても好きなの。でも、他の人たちと話すのが得意じゃないから、私はいま、とても緊張しているわ」と言いました。ワタルは「大丈夫だよ。とにかく、明日の朝7時に保育園で会おう。じゃあまた」と言いました。

そのプログラムは翌日始まりました。朝、3人の生徒は保育園の先生であるオカ先生に会いました。彼は彼らに「ようこそ当保育園へ。私は、あなたたちがここで楽しい時を過ごすことを願っています。ところで、私たちには子どもたちが来る前に、することがたくさんあります。まず、私たちは部屋をそうじしなければなりません。この部屋から始めましょう」と言いました。カナは自分が部屋をそうじしなければならないことを知らなかったの、「なぜ私は部屋をそうじしなければならないの？私は、自分はただ子どもたちと遊ぶだけでよいと思ったのに」と思いました。3人の生徒はそうじをし始めて、朝、多くの部屋をそうじしました。それから、彼らは他の先生たちに会い、オカ先生が彼らに園の案内をして回りました。それから、昼食時間がきて、3人の生徒は子どもたちと昼食をとりました。昼食後、彼らはもう少し部屋をそうじしなければならませんでした。その日の終わりに、カナは「とても疲れたわ」と思いました。

2日目の午後に、カナとユリは再び部屋をそうじしていました。カナはあきていました。すると、ユリがカナに「カナ、私は隣の部屋でピアノを見たわ」と言いました。すると、カナは「本当？私はそれを弾きに行くわ!」と言いました。ユリは「私は、自分たちはまずこの部屋をそうじすべきだと思うわ」と言いました。カナは「どうぞ私なしでそれを終わらせてね」と言いました。すると、彼女は隣の部屋に行き、ピアノを弾き始めました。彼女はピアノを弾くのがとても上手でした。まもなく数人の子どもがカナのところにやって来て、ピアノを聞きました。彼女は子どもの歌を何曲か弾いて、子どもたちは歌い始めました。彼らの幸せそうな顔を見てとてもうれしく思ったので、カナは驚きました。

カナはとてもうれしくて、ユリのところへ戻って行きました。彼女はまだ部屋をそうじしていました。ワタルがそこで彼女を手伝っていました。彼は怒っていました。彼はカナのところへ行行って、「君がピアノを弾いている間、ユリはひとりで部屋をそうじしていたんだ」と言いました。カナも怒っていて、「私は5分か10分しかピアノを弾かなかったわ。そのことで何が問題だったの？子どもたちは歌を歌って喜んでいたわ。私は彼らと遊ぶためにここに来たので、ただそうしただけよ」と言いました。彼は彼女に「僕は、まだ君の言うことは正しくないと思っているんだ」と言いました。

彼らのプログラムの最後の日に、カナとユリは部屋で子どもたちと遊んでいました。そのとき、ひとりの男の子がひとりの女の子から本を奪い、その女の子は泣き始めました。カナはそれを見ましたが、どうしたらよいかわかりませんでした。すぐに、ユリはその男の子のところに行って、男の子に何か言いました。すると、男の子は女の子に謝りました。女の子は泣くのをやめました。そのあと、ユリと男の子、女の子は一緒にその本を読み始めました。カナはそれを見てとても驚きました。オカ先生もそれを見て、カナに「ユリは先生になりたいんだね？私は、きっと彼女は良い先生になると思うよ。その男の子はちょうど何か大切な事を学んだところだよ。それは他の人の気持ちのことを考えることだ。それは私たちみんなにとって大切なんだ」と言いました。カナは何も言いませんでしたが、「それは私も学ぶべきことだよ。昨日子どもたちと楽しんでいたときに、私はユリの気持ちのことを考えていなかったわ。実際、私は他の人の気持ちをあまり考えたことがなかったわ。私は自分自身を変えなければならないわ」と思いました。

その日の午後、3人の生徒は子どもたちとオカ先生、保育園にさよならを言い、保育園を去りました。3人の生徒が駅に向かって歩いていたときに、カナはユリとワタルに「昨日のことはごめんなさい」と言いました。2人はそれを聞いてとても驚きました。ユリはただ「いいのよ」と言っただけでした。ワタルは「びっくりしたよ。たぶん君は保育園で何かを学んだのかもしれないね。よかった。君もいまは保育園の先生になりたいかい？」と言いました。カナは「わからないわ。でも、私はそのことについて考えるわ」と言いました。

第4回(12月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Ann: Hi, Kenta. I went to see my favorite singer's concert with my aunt yesterday.
Kenta: Sounds good, Ann. How was it?
Ann: It was exciting. Green Hall was full of people.
Kenta: Green Hall? Where is that?
Ann: It's near Wakaba Department Store.
Kenta: Oh, I know that department store. I went there with my brother last month.
Ann: I often go there. I saw a famous artist when I went there last Sunday.
Kenta: Really? It was your lucky day. (3秒の間)

Question: Who went to see the concert with Ann yesterday?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Miho: You look sleepy, Tom.
Tom: Yes, Miho. I got up early this morning, so I feel a little sleepy.
Miho: Why did you get up early?
Tom: I started running in the morning.
Miho: That's nice. I think running is good for you. When did you start running?
Tom: Yesterday. I got up at four thirty, went running ten minutes later, and ran for fifty minutes yesterday morning. But I got too tired after running. So this morning, I got up at five, went running ten minutes later, and ran only for twenty minutes.
Miho: I see. (3秒の間)

Question: What time did Tom finish running yesterday morning?

(1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Rie: Jack, do you know that girl over there? I don't know her.
Jack: Which girl are you talking about, Rie? Are you talking about the girl talking with Aya?
Rie: No. Can you see the girl reading a book under the tree?
Jack: Oh, that girl. She is Meg. She is a new student.
Rie: Is she? Where is she from?
Jack: I've heard she is from New Zealand. Her brother is also studying at this school. Do you know Bob? He is her brother.
Rie: Oh, I know Bob. He plays basketball very well. (3秒の間)

Question: What is Meg doing? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、東京に住んでいる女子高校生のMikaがオーストラリアの姉妹校の高校生に送ったビデオメッセージでのスピーチです。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを8語の英語で書きなさい。なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。では、始めます。(2秒の間)

Hello, everyone. My name is Mika. I'm happy to send this video message to you. I hear some of you are going to visit our school next month, so I will tell you a little about our school life.

There are about 500 students in our school. We usually come to school from Monday to Friday, and we have six classes a day. Many students do club activities after school. We have many sports teams, and students enjoy sports such as soccer, tennis, basketball, and volleyball. We also have clubs like the music club, the drama club, and the English club. I'm in the drama club. Actually, I want to be an actor in the future.

I think school life here is different from yours. For example, students in Japan clean their own classrooms. Many Japanese people think that it is important for students to clean their own classrooms. But I hear you don't do that, right? Then who does that? I'm interested in school life in Australia, so please tell me about it when you come. Anyway, we are all very happy to have you at our school. See you soon. (3秒の間)

Question 1: What is Mika's dream? (5秒の間)

Question 2: What is Mika interested in? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。

第5回
(1月)

【解答】(配点: ② 3(2) 12点 他 4点×22)

① 【問題A】 <対話文1> エ <対話文2> エ <対話文3> イ

【問題B】 <Question 1> ア

<Question 2> 【例】 They have to be quiet in the main hall.

② 1 イ 2 エ 3(1) ウ

3(2) 【例】 I like playing video games in my house when it's very hot. I don't think it's good for my health to go outside when it's very hot. So I stay in my house and have a good time.
(3文)

③ 【問1】 エ 【問2】 ウ 【問3】 ア 【問4】 ウ 【問5】 イ 【問6】 ウ 【問7】 エ

④ 【問1】 エ 【問2】 エ→イ→ア→ウ (完答) 【問3】 (1) イ (2) エ (3) ア

【問4】 (1) イ (2) ウ

☆部分点について

【部分点あり】という記載がある設問に関しては、正答例のほか、英語として正しい場合には点を与えるとともに、下記の〈表記及び文法等の減点項目〉に基づき、得点を定めます。

〈表記及び文法等の減点項目〉

・大文字と小文字の誤り	1か所につき1点減点	・綴りの誤り	1か所につき1点減点
・文法事項等の誤り	1か所につき1点減点	・ピリオド等符号の誤り	1か所につき1点減点

【解説】

① リスニングテスト (解説台本参照)

【問題B】 <Question 2> 【部分点あり】英問英答。4点満点。Where do ~?に答える。

※今回は語数が合っていない場合は不正解とします。

② 1 (A) 空所のあとに続く内容から、ここでは「今年の冬で気温が4度に達しなかった日数」が話題。グラフ参照。4度に達しなかった日数は、「3日」。(B) ここでは、去年の同じ日の日最高気温よりも高かった日が話題。グラフ参照。去年の日最高気温より今年の日最高気温が高かったのは「1月20日」。

2 (A) ここでは、次に薬が飲めるタイミングが話題。薬の使用上の注意参照。空所の直前に、「今は午前8時」「昨日は正午(12時)にこの薬を飲んだ」とあることに注目。また薬の使用上の注意に、24時間は間隔をあけるように説明されていることから、次にまた薬が飲めるのは「4時間後」の12時。(B) ここでは、マックス(Max)が花粉症の薬を飲めない理由が話題。薬の使用上の注意参照。この薬を飲んではいけないのは「12歳未満の子ども」とある。

3 (1) ウ 「マックスは母親から、この夏のロンドンの最高気温が40度を超えたことを知りました」という意味の文で、メールの本文第2段落の内容と合っている。

(2) 【部分点あり】条件付自由英作文。12点満点。

○2022年度の入試形式

「2022年度都立高等学校入学者選抜 学力検査問題」の自由英作文は、昨年に引き続き、「<条件>に合うように、空所の中に、三つの英語の文を書いて、AからBへの返事のEメールを完成する」というもの。

○今回の課題と条件

今回の課題は「いま僕(=コウタ[Kota])はあなた(=マックス)の質問に答えます」という文に続くように「三つの英語の文」を書くというもの。この文にある「あなた(=マックス)の質問」とは、本文3ページのマックスがコウタに送ったEメールの本文第3段落に書かれている「あなたはとても暑い日に何をすることが好きですか」

という質問。

<条件>として挙げられているのは「前後の文につながるように書き、全体としてまとまりのある返事のEメールとすること」と「マックスに伝えたい内容を一つ取り上げ、それに関する具体的な説明を含めること」の2つ。

このうち前者に関しては、「前後の文につながるように書いていない」文を、<内容不明>として1文ずつ4点減点する。

また、後者に関しては、次のような場合、<指定条件違反>としてそれぞれ4点減点する。

- ・ケース1 「マックスに伝えたい内容を一つも取り上げていない」
- ・ケース2 「マックスに伝えたい内容を複数取り上げている」
- ・ケース3 「それに関する具体的な説明が書かれていない」

なお、「三つの英語の文」という条件に合わない場合は、次のように減点する。

- ・1文しかない場合…8点減点。
- ・2文しかない場合…4点減点。

※4文以上ある場合は、初めの3文だけを採点対象とする。(4文目以降は採点の対象としない。)

○その他

◇「大文字・小文字・スペルミス」「符号の誤用」「文法ミス」といった〈表記及び文法等〉に関しては、ミス1か所につき1点減点。

◇「理由」を表すbecauseについて、「理由」の部分、主節の文とは独立させてBecauseで書き出している場合も「文法ミス」とみなして1点減点。

◇減点は「1文につき、4点まで」とする。

※課題をじっくり読み、書き始める前に必ず、どんな<条件>を満たして書かなければならないかを確認しよう。時間が限られていても、空所に続く文もしっかりと読んでから書き始めましょう。

③ 【問1】 ここでは、エイタ(Eita)が箱根で買ったキーホルダーが話題。そのキーホルダーは箱根でしか買えないということを知り、リンダ(Linda)が「たぶんいつか」と述べたのだから、リンダは「いつか箱根でキーホルダーを買うつもりである」とわかる。

【問2】 下線部の「僕も」とは、直前のカズ(Kazu)の発言を受けてのもの。カズは、「僕たちは(学校のマスコットを)持っていないと、僕は思います」と述べたのだから、その内容に近いものを選ぶ。

【問3】 自分たちの学校で学校のマスコットのコンテストが開催されることを聞いたカズが、「一緒にそれに参加するのはどうですか」と友人たちに呼びかけた場面。下線部はそれに答えたものだから、「それをしましょう」とは、「コンテストに参加しましょう」ということで、具体的には「ナナ(Nana)は他の生徒たちと一緒に学校のマスコットを作りたいと思っている」ということ。

【問4】 直前でナナは、学校のマスコットにウサギやニワトリを選ぶことを提案している。それに対してカズが下線部の発言をしていることに注目。また続く内容で、トマトを話題にあげていることから、「トマトを学校のマスコットに選ぶべきだ」とカズが考えているとわかる。

【問5】 学校のマスコットの絵を何枚か描くから次回選んでほしいというナナに対して、エイタが次回の集まりについて提案している場面。それに続けてカズが下線部の発言をしているのだから、カズが待ちきれないのは「学校のマスコットのコンテストのためにナナが描いた絵を選ぶ」こと。

【問6】 本文中の各人物の発言内容をていねいに追うこと。A「ナナは、自分の学校の100周年がいつであるかについて話します(ナナの4番目の発言)」, B「カズは学校のマスコットがついたTシャツについて話します(カズの最後から2番目の発言)」, C「リンダは北海道のある市のマスコットについて質問をします(リンダの6番目の発言)」, D「エイタは箱根で買ったキーホルダーについて話します(エイタの最初の発言)」だから、DACBの順。

【問7】 (A) ナナの3番目の発言、及び、それに対するリンダの発言から、リンダの学校のマスコットは「ウマ」。

(B) were を補って、「もし彼女のように上手に描けたら、私も何枚か絵を描くの」に」という意味の仮定法の文に。

④ [問1] ここでは、アキラ(Akira)の父親の同僚によって開催されるパーティーが話題。アキラの父親は、アキラとアキラの母親をそのパーティーに誘い、母親はすぐに参加を申し出ている。それに続けて父親が再度誘いをかけて、アキラが下線部の発言をしているのだから、アキラもパーティーに参加するつもりになったとわかる。

[問2] ア「アキラはオーストラリアのお店で、自分の父親はすごいと思いました(本文第3段落)」, イ「アキラは自分の母親と一緒にオーストラリアに行くことに決めました(第2段落後半)」, ウ「アキラは初めてメリッサ(Melissa)と話しました(第5段落)」, エ「アキラの父親は、翌月のアキラの冬休みについて話しました(第2段落前半)」だから、エイアウの順。

[問3] (1) 本文第2段落から、「毎週土曜日、アキラと母親はインターネットでアキラの父親と話しました」という意味の文に。

(2) 本文第3段落から、「アキラの冬休みの初日に、アキラは母親と一緒にオーストラリア行きの飛行機に乗りました」という意味の文に。

(3) 本文第5段落後半から、「メリッサに空手について尋ねられたとき、アキラはどうしていいかわからず、何本かの空手の動画を彼女に見せました」という意味の文に。

[問4] (1) 「アキラは将来、何をしたいと思っていましたか」に答える。本文第1段落から、「彼は自分の父親のように、他の国で働いてみたいと思っていました」。

(2) 「次回オーストラリアを訪れたとき、アキラは何をするつもりですか」に答える。本文第6段落から、「彼は自分の友だちに、空手のし方を見せるつもりです」。

全 訳

1

[問題A]

<対話文1>

トム： エリコ、僕たちは何時にミナト駅に着くの？

エリコ： そうね、この電車はちょうどキタ駅を出たところだから、私たちは2時にそこに着くと思うわ。

トム： 僕たちは電車を乗り換えなければならないの？

エリコ： そうよ、トム。私たちはナカ駅で電車を乗り換えるつもりよ。私たちは7分でそこに着くわ。

トム： わかった。それは次の駅なの？

エリコ： いいえ。次の駅はモモ駅よ。

質問：彼らは2時に、どこにいるでしょうか。

<対話文2>

エリック： アケミ、妹のリサの誕生日がもうすぐやってくるから、僕は彼女のために何かしてあげたいんだ。

アケミ： うわあ、あなたは優しいお兄さんだわ。彼女は10歳よね？

エリック： 実は、彼女は11歳になるんだ。

アケミ： わかったわ。彼女を私たちの町の夏祭りに連れて行くのはどうかしら？私は、小さいときに着たユカタを持っているの。彼女はそれを着ることができるわよ。

エリック： 本当？彼女はとても喜ぶだろう。君はそれの着方を知っているの？

アケミ： ええ。彼女がそれを着るときには、私が彼女を手伝ってあげるわ。

エリック： どうもありがとう。

アケミ： 問題ないわ。私はその祭りで和太鼓を演奏するから、どうぞ聞きに来てね。

エリック： 僕たちはそうするよ！君のアイディアをありがとう。

アケミ： どういたしまして。

質問：アケミはリサのために何をするでしょうか。

<対話文3>

ホワイトさん： こんにちは、カズヤ。助けてくれない？

カズヤ： こんにちは、ホワイトさん。もちろんです。あなたのために何ができますか。

ホワイトさん： 私は市立博物館へ行きたいの。ここからどうやってそこに行くことができるの？

カズヤ： ええと、この地図を見てください。僕たちは駅のここにいます。最初に、この通をまっすぐに行ってください。5分間歩いたあとで、あなたは公園に来ます。そこを右へ曲がってください。

ホワイトさん： わかりました。

カズヤ： それからまっすぐに行って、レストランのところで左へ曲がってください。あなたの右側、郵便局の隣に博物館を見つけるでしょう。

ホワイトさん： わかりました。どうもありがとう。

質問：ホワイトさんは、どこで右に曲がるでしょうか。

[問題B]

皆さん、どうぞ聞いてください。現在、10時25分です。私たちは5分でお寺に到着します。お寺では、皆さんは2つの伝統的な塔や、本堂、庭を見て楽しむことができます。塔は築およそ500年で、本堂は築およそ600年です。皆さんはいま、美しい桜を見て楽しむこともできると思います。昼食を買って、それを桜の木の下で食べるのはとても良いアイディアです。私たちはそれを日本語でハナミと呼んでいます。それはとても楽しいです！

皆さんが行く前に、お話しすることがいくつかあります。お寺の庭を歩いて回るためには、皆さんはチケットが必要です。それは300円です。皆さんが本堂の中にいるときは、どうか写真を撮らないでください。皆さんはまた、そこでは静かにしていなければなりません。塔を見て楽しむときには、皆さんはそれらの写真を撮ることができますが、それらに触れてはいけません。私たちは3時にお寺を出発しますから、どうぞその10分前にバスに戻ってきて下さい。聞いてくださってありがとうございます、そして皆さんの1日を楽しんでください。

質問1：お寺には伝統的な塔がいくつかありますか。

質問2：お寺の中のどこで、人びとは静かにしていなければなりませんか。

2

1

マックス： 君は次の授業で、何について話すつもりなの？

コウタ： ええと、僕は自分たちの市の1月14日から20日までの日最高気温について話すつもりなんだ。僕はそれらに関するグラフを作ったんだ。見て。

マックス： 今年の冬はとても寒かったから、それは興味深いね。ええと、その週の間では、4度に達しなかった日が3日あったんだ。

コウタ： そうなんだ。でも、去年の同じ週に、気温は4度を超えていたんだよ。

マックス： それは今年より去年のほうが暖かかったことを意味しているんだね。君はなぜだか知っている？

コウタ： ええと、今年はラニーニャ現象が起きているそうだね。それが起こると、日本ではより寒くなるんだ。

マックス： なるほど。じゃあ、なぜ今年の1月20日の日最高気温が去年の同じ日の日最高気温より高かったのかを教えてください。

コウタ： それは僕が知らないことなんだ。僕は職員室に行って、それについてサカイ先生に聞くつもりなんだ。

マックス： それはいい考えだね。僕も君と一緒に行くよ。

2

マックス： おはよう，コウタ。おや，調子が良くなさそうだね。大丈夫なの？

コウタ： おはよう，マックス。うん，聞いてくれてありがとう。僕はちょうど花粉症にかかっているんだ。毎年，僕は3月と4月にそれにかかるんだ。

マックス： お気の毒に。そのための薬を何か持ってるの？

コウタ： うん。見て。僕は昨日，この薬を買ったんだ。

マックス： それは良かった。今日それを服用したかい？もししていなかったら，君はすぐにそれを服用すべきだよ。

コウタ： ええと，いま午前8時だよな？使用上の注意のここを見て。僕は昨日の正午にこの薬を服用したから，それをまた服用するのにあと4時間待たなければならないんだ。

マックス： なるほど。ところで，たとえ花粉症にかかったとしても，僕はこの薬を服用することはできないな。

コウタ： なぜだい？君は12歳以下ではないよね。

マックス： もちろんそうじゃないさ。僕は自転車で学校に来ているってこと。

コウタ： いま，わかったよ。君の言うとおりだね。眠いときに，自転車に乗るのは良くないよね。

マックス： 授業中はどうなの？

コウタ： あっ，しまった！僕はそのことを考えていなかったよ。

マックス： がんばって。

3

(1)

コウタへ，

僕の日本滞在中はどうもありがとう。君のおかげで，僕は日本でとても楽しい時を過ごしました。春には，花粉症のために，君は困難な時を過ごしましたね。今は夏だから，君の花粉症が治っているといいですね。僕は花粉症ではないので，日本に行く前は，それについてあまり知りませんでした。だから，僕は君からそれについてたくさん学びました。僕は花粉症を引き起こす多くの種類の植物があることを学びました。それは人びとが季節ごとに花粉症にかかるということを意味します！僕は将来，本当に花粉症にかかりたくありません。

昨日，僕は今年の夏のロンドンの天候について母と話しました。母は「今年の夏はずっととても暑かったのよ。今年の夏の今までのところの最高気温は40度を超えたわ。私はとても暑い日には家にいたけど，中には浜辺に行った人もいたそうね。私は，自分はそれをする事ができないと思うわ」と言っていました。

君はとても暑い日には，何をするのが好きですか。どうぞ教えてください。

君の友だち，
マックスより

(2)

マックスへ，

Eメールをありがとう。僕は君が日本で楽しい時を過ごしたことを知ってうれしいです。今は花粉症にかかっていないので，僕はとても気分がいいです。僕は将来，ロンドンで君と会えることを願っています！

いま，僕は君の質問に答えます。

君もこれをやってみてはどうですか。とても楽しいですよ！

君の友だち，
コウタより

[3]

ナナとエイタ，カズは日本の高校生です。リンダはアメリカ合衆国出身の高校生です。彼らは放課後に，自分たちの教室で話しています。

ナナ： あら，エイタ。私はあなたのカバンのキーホルダーが好きよ。

エイタ： ありがとう。それは箱根のマスコットで，僕はそれがとても気に入っているんだ。

リンダ： それはとてもかわいいわね。私もそれがほしいわ。ひとつ手に入れるためには，箱根に行かなければならないの？

エイタ： そうだよ。それは箱根だけで売られているんだ。

リンダ： なるほど。たぶんいつか。マスコットといえば，この学校のマスコットは何？

カズ： どういう意味？

ナナ： アメリカ合衆国の高校には学校のマスコットがあると聞いたことがあるの。それは本当なの？

リンダ： ええ。

カズ：僕はそれを知らなかったよ。僕は，自分たちにはないと思うよ。

エイタ：僕もないと思うよ。僕は，マスコットを持っている日本の学校はあまりないと思うんだ。

ナナ：それは本当ではないわ，エイタ。私は，持っている学校をいくつか知っているわ。私の友だちの学校のマスコットはカエルよ。あなたのは何，リンダ？

リンダ：それはウマよ。私は自分のスマートフォンに写真があるわ。見て。

エイタ：わあ，それはかっこうよく見えるね。僕は，自分たちの学校はこのようなマスコットを持つべきだと思うな。

ナナ：私はみんなに良い知らせがあるの。私たちの学校は来年100周年を祝う予定で，今年，学校のマスコットコンテストを開く予定なの。この学校のだれでもそれに参加することができるのよ。

エイタ：本当？それはとても興味深いな。

カズ：僕もそう思うよ。一緒にそれに参加するのはどう？

エイタ：参加するよ。

リンダ：私も。

ナナ： それをしましょう。

カズ： わかった。僕たちはマスコットとして何を選ぶべきかな？

エイタ： それは最も難しい部分だね。

カズ： なぜかわからないけど、僕はちょうど北海道のある市のマスコットを思い出したんだ。それは本当に怖いんだ。僕のスマートフォンのこれを見て。

リンダ： あら、いやだ。なぜクマがメロンの頭をしているの？

ナナ： あかね、その市はメロンで有名なの。それに、たくさんのクマが北海道に住んでいるの。だから、そのマスコットが作られたのだと、私は思うの。

リンダ： なるほど。とにかく、私たちの学校を象徴する何かを選ぶことは良いアイデアね。

エイタ： 同意するよ。

ナナ： 私たちの高校は農業高校で、私たちには自分たちの学校と一緒に面倒を見ている何匹かのウサギとニワトリがいるわ。私は、多くの人は自分たちの学校のそれらの動物について知っていると思うの。私たちの学校のマスコットにそれらを使うのはどう？

カズ： それは良いアイデアだね。でも、僕には別のアイデアがあるんだ。文化祭で、僕たちはそれを訪れる人たちに野菜を売っているよね。毎年、何がいちばん売れる？

エイタ： トマトだね。

カズ： そのとおり。だから、僕たちは自分たちの学校のマスコットにトマトを使うべきだよ。

リンダ： 私は、ナナとカズのアイデアの両方とも良いと思うから、トマトを抱えているウサギのように、それらを一緒に使ってはどう？

ナナ： 私は、それはとてもかわいいと思うわ。

エイタ： わかった、僕たちはリンダのアイデアを使おう。ナナ、君は絵を描くのが得意だね？

ナナ： 私はあなたが何を意味しているかわかるわ。私に2、3分ちょうだい。

5分後

ナナ： 私は絵を描き終えたわ。どうぞ見て。

エイタ： わあ、すごいな。僕は、だれもがこのマスコットを見たあと、僕たちのアイデアを気に入ると思うな。

カズ： もしそれが選ばれるとしたら、僕はそのマスコットのついたTシャツを作って、それを文化祭で着たいな。

リンダ： それはとても楽しくなるわ！私もそれをしたいわ！私たちはそのTシャツを売ることもできるわ！

エイタ： 落ち着いて、君たち2人とも。それはまだアイデアに過ぎないよ。

ナナ： 彼の言うとおりで。私は今週末に、もう何枚かの絵を描くつもりなので、私たちが次回、このことについて話すときに、ひとつを選んでね。

エイタ： そうするために次の月曜日の放課後に、もう一度会うのはどう？

リンダ： 構わないわ。

カズ： 僕は待ちきれないよ。

ナナ： 私はその日は暇よ。

エイタ： わかった。それじゃあ、また！

4

アキラは東京の高校生でした。彼の父親と母親は英語をとてもし上手に話し、アキラも英語を勉強するのがとても好きでした。オーストラリアに転任したので、彼の父親はそこに住んでいて、アキラは将来、父親のように外国で働きたいと思っていました。

アキラの父親は毎週土曜日に、インターネットでアキラと彼の母親と話しました。ある日、彼らが話していたときに、アキ

ラの父親が「アキラ、君は来月、冬休みがあるよね？私に考えがあるんだ。冬休みの間にお母さんと一緒にオーストラリアの私を訪ねてはどうか？」と言いました。アキラの母親は「私は、それはいい考えだと思うわ。私はオーストラリアでクリスマスを楽しみたいわ。あら、もちろん、私はあなたに会いたいわ」と言いました。アキラの父親は「それはよかった。君はどうなの、アキラ？」と言いました。アキラは「それはわくわくしそうだね。僕は外国に行ったことがないので、オーストラリアを訪れたいな。でも、僕にはひとつ問題があるんだ」と言いました。彼の父親は「それは何だい？」と言いました。アキラは「英語で人びとの言うことが理解できるかどうか、僕は確信がないんだ」と言いました。彼の母親は「まあ、それはまったく問題ではないわ。『虎穴に入らずんば虎子を得ず』よ」と言いました。アキラの父親は「お母さんの言うとおりで。君は5年以上英語を学んでいるよね。私は、きっと君がここでとても楽しい時を過ごせると思うよ」と言いました。アキラは「わかった。やってみるよ！」と言いました。

冬休みの初日に、アキラと彼の母親は日本の空港に行って、飛行機に乗りました。彼は初めて飛行機に乗ったので、少し緊張しました。約10時間後、飛行機はオーストラリアの空港に到着しました。アキラの父親がアキラと彼の母親を待っていました。アキラの父親は彼らを車で彼の家に連れて行きました。途中で、彼らは店に行って、彼らの滞在に必要な物を買いました。アキラの父親はその店の人と話していて、アキラは「わあ、お父さんは英語を話している。すごいな！」と思いました。

アキラがその晩、家族と夕食をとっていたときに、彼の父親が「今週末、何人かの同僚がパーティーを開く予定なんだ。彼らはオーストラリア人だけでなくイギリスやイタリア、インドのような他の国の出身の人たちもいるよ。私は、彼らは家族と一緒に来ると思うんだ。もし君が興味があるなら、私たちは一緒に行けるよ」と言いました。アキラの母親は「私はパーティーが大好きだわ。私は行くわ」と言いました。アキラの父親は「みんなはそこでは英語を話すだろうから、それは君にとって良い経験になるだろう、アキラ。どう思う？」と言いました。アキラはそれについて考えて、「僕も行くよ」と言いました。

土曜日に、アキラの家族はそのパーティーに参加するために、アキラの父親の同僚の家のひとつに行きました。アキラの父親はアキラをパーティーで人びとに紹介しました。彼は「これが息子のアキラです。アキラ、こちらはトッティさん。彼はイタリア出身だよ。そして、こちらはオブライエンさん。彼女はアイルランド出身なんだ」と言いました。パーティーには数人の男の子や女の子もいました。彼らのひとはメリッサで、彼女はアキラに、「こんにちは。私はメリッサです」と話しかけました。彼は「こんにちは、メリッサ。僕はアキラです」と言いました。彼女は「よろしく。あなたはスポーツが好きですか」と言いました。彼は「はい。僕は空手をします。あなたは今までにそれについて聞いたことがありますか」と言いました。「ええと、それは日本の格闘技でしょ？私はそれについてはあまり知りません。私にそれについて話してくませんか」と言いました。彼は「英語で空手について話すことは僕にとって難しすぎるな。どうしようかな？そうだ、僕のスマートフォンに動画がいくつかある。それらを彼女に見せることができるぞ」と言いました。彼は彼女に空手の動画をいくつか見せて、彼女はそれを見てとても楽しんでいました。すると、他の数人の男の子や女の子がやって来て、メリッサと一緒にそれらの動画を見ました。彼らのひとりが「わあ、あなたは動画の中ですごいね！あなたは漫画のヒーローのように見えるね！」と言いました。それから、彼らはアキラに空手についていくつか質問をし始めました。それらのいくつかに答えられなかったとき、彼は「それは答えるのにとて難しい質問だね。僕はそれについて学んで、あとであなたにEメールを送るよ。それでいい？」と言いました。すぐに彼は彼らと友だちになって、彼らと楽しい時を過ごしました。

アキラと彼の母親はオーストラリアでさらに3日を過ごしました。彼らが日本に戻ろうとしていたときに、アキラは空港で父親に「僕はオーストラリアでとても楽しい時を過ごしたよ。僕は多くのことを学んで、友だちが何人かできた。ここに来る前は、僕は少し緊張したけど、いま、お母さんの言うとおりでわかったよ。『虎穴に入らずんば虎子を得ず』だね」と言いました。彼の父親は「私はそれを聞いてうれしいよ、アキラ。私は、さらに数年ここにいると思うので、また来なさい」と言いました。アキラは「そうするよ、お父さん」と言いました。アキラは「今度来るときは、僕は空手着を持ってきて、友だちに空手の仕方を見せよう」と言いました。

第5回(1月) 英語学力検査リスニングテスト台本

開始時の説明

これから、リスニングテストを行います。

問題用紙の1ページを見なさい。リスニングテストは、全て放送による指示で行います。リスニングテストの問題には、問題Aと問題Bの二つがあります。問題Aと、問題Bの<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。問題Bの<Question 2>では、質問に対する答えを9語の英語で書きなさい。

英文とそのあとに出題される質問が、それぞれ全体を通して二回ずつ読まれます。問題用紙の余白にメモをとってもかまいません。答えは全て解答用紙に書きなさい。(2秒の間)

[問題A]

問題Aは、英語による対話を聞いて、英語の質問に答えるものです。ここで話される対話は全部で三つあり、それぞれ質問が一つずつ出題されます。質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。

では、<対話文1>を始めます。(3秒の間)

Tom: Eriko, what time will we arrive at Minato Station?
Eriko: Well, this train has just left Kita Station, so I think we will be there at two.
Tom: Do we have to change trains?
Eriko: Yes, Tom. We will change trains at Naka Station. We will be there in seven minutes.
Tom: OK. Is it the next station?
Eriko: No. The next station is Momo Station. (3秒の間)

Question: Where will they be at two? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(対話文1と質問の繰り返し)

<対話文2>を始めます。(3秒の間)

Eric: Akemi, I want to do something for my sister Lisa because her birthday is coming soon.
Akemi: Wow, you are a kind brother. She is ten, right?
Eric: Actually, she will be eleven.
Akemi: OK. How about taking her to the summer festival in our town? I have a yukata I wore when I was little. She can wear it.
Eric: Really? She will be very happy. Do you know how to wear it?
Akemi: Yes. I will help her when she wears it.
Eric: Thank you very much.
Akemi: No problem. I will play the wadaiko at the festival, so please come and listen.
Eric: We will! Thank you for your idea.
Akemi: You're welcome. (3秒の間)

Question: What will Akemi do for Lisa? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(対話文2と質問の繰り返し)

<対話文3>を始めます。(3秒の間)

Ms. White: Hello, Kazuya. Can you help me?
Kazuya: Hello, Ms. White. Sure. What can I do for you?
Ms. White: I want to go to the city museum. How can I get there from here?
Kazuya: Well, please look at this map. We are here at the station. First, go straight along this street. After walking for five minutes, you will come to the park. Turn right there.
Ms. White: OK.
Kazuya: Then go straight and turn left at the restaurant. You will find the museum on your right, next to the post office.
Ms. White: I see. Thank you very much. (3秒の間)

Question: Where will Ms. White turn right? (1回目: 5秒の間, 2回目: 10秒の間)

繰り返します。(2秒の間)

(対話文3と質問の繰り返し)

これで問題Aを終わり、問題Bに入ります。

[問題B] (3秒の間)

これから聞く英語は、留学生のRickが聞いたバスツアーのガイドによる説明です。内容に注意して聞きなさい。

あとから、英語による質問が二つ出題されます。<Question 1>では、質問に対する答えを選んで、その記号を答えなさい。<Question 2>では、質問に対する答えを9語の英語で書きなさい。

なお、<Question 2>のあとに、15秒程度、答えを書く時間があります。

では、始めます。(2秒の間)

Everyone, please listen. It's ten twenty-five. We will arrive at the temple in five minutes. At the temple, you can enjoy seeing two traditional towers, the main hall, and a garden. The towers are about 500 years old, and the main hall is about 600 years old. I think you can also enjoy seeing beautiful sakura now. Buying lunch and eating it under a sakura tree is a very good idea. We call it hanami in Japanese. It's a lot of fun!

Before you go, I have some things to tell you. To walk around the garden in the temple, you will need a ticket. It's 300 yen. When you are in the main hall, please do not take any pictures. You also have to be quiet there. When you enjoy seeing the towers, you can take pictures of them, but do not touch them. We will leave the temple at three, so please come back to the bus ten minutes before that. Thank you for listening, and enjoy your day. (3秒の間)

Question 1: How many traditional towers are there in the temple? (5秒の間)

Question 2: Where do people have to be quiet in the temple? (15秒の間)

繰り返します。(2秒の間)
(問題Bの英文と質問の繰り返し)

以上で、リスニングテストを終わります。2ページ以降の問題に答えなさい。